指導原則を討議

十八日の一般委員會

張學良らによつて

銭の入滿問題を利用

事はんさしつゝある、而して平浪 然さ野心さによりは民のバンなし 然さ野心さによりは民のバンなし

わが意嚮を説明

イ委員長等に對して



海關から 北平を出發

作路入法内のお 「簡員」ジュアレエ氏(クローデル将軍の軍器)の四氏は日本泰典員並びに随日、クローデル将軍の軍器)の四氏は日本泰典員並びに随日、クローデル将軍(委員アランス)シュネー博士(委員ドイツ)パステニホフル

中にて奉天に向ふ筈

中にて奉天に向ふ筈

中にて奉天に向ふ筈

中にて奉天に向ふ筈

中にて奉天に向ふ筈

中にて奉天に向ふ筈

中にて奉天に向ふ筈

海路入滿の調査員は

乘艦の速力關係から

調査團に聲明書

重光公使語る

万面

嫌疑者

留置取調べ王標偵局長

陰謀暴露

軍長師長等の

を反吉軍が包圍

村井〇團出動

全 長春(でとなりのに引致取職事代を を 長春(でとなりのに引致取職事代を を 長春(でとなりのに引致取職事代を を 長春(でとなりのに引致取職を として、 に対すると、 に対し、 に対

# 起草委員會物別 兩決議草案につき討議

がそのまり留

獨逸案を宣明

策動露骨となる

延分子の

申合せ

上海抗日團體

東支本社を かられてゐる

嚴重警戒

を記すた歌け政治部、総派都共紀 新300下に目下政治総派政策鑑査 策略に更生の党を挙げやうさする 民政黨新政策

が 人さと何時鏡道の杜軽を楽すやも 焼いさる 無いであるが、東安本社 機に駆するものなりさて緩索の織物を連れる外これが輸送 かってるので終える楽が子の楽する であるので結束不選分子の乗する

東支従業員も悪化 本社 は破れる兵戦に関しては踏るな楽の確認と同時を完全に関めついある事の確認と同時を完全に関めついある事の確認を認めて原り継新聞はロシャ間境である。 てるる 露政府是認 一、全國和人は純對日貨か育買す 、政府に對日國交勵組を要求す 以上な今後抗日の全科玉條ごと 以上な今後抗日の全科玉條ごと

日報時會は起近上級より提出技能 日報時會は起近上級より提出技能 で教職局の試験、日鑑を一定の場 で教職局の試験、日鑑を一定の場 で教職局の試験、日鑑を一定の場 で教職局の試験、日鑑を一定の場 南京抗日會動く

# 停戰交涉廿日再開 開か

「食見中であるが概能の日取りその他につきが合せをして観察談は今が強着するためてその上で食験機能につ

### 急速に協定成立見込 支那の對内的事 情により

後十時北平出登山海隅に向ひ、山海隅にて三つに

委員會案

かれる記憶

ストッサス日餐」本日午後 では上海にかける今後の では上海にかける今後の では上海にかける今後の では、大なすべきか否かが間壁

壽府委員會多數の意見

松平大使ス氏

ご會見

外出せで十九日はイタ

では十八日午後六時スチムソン米國 は十八日午後六時スチムソン米國 は十八日午後六時スチムソン米國

養 四 を終った有機で東支の輸送版態は極 を終った有機で東支の輸送版態は極

**や前八砂上陸開始!!!第二 関十一時半到者!!!第二 学技二時験船開始!!!第二** 凱旋兵と交代兵 けふの送迎は左の通り 終二師御凱稿長〇二十一番パース) パ行〇咏、根道部隊へ大連弾)

り一般であるが、一般によが、 に属する影響者類の影歌に時を称 本日午前中は軍縮會議及極東問題 本日午前中は軍縮會議及極東問題 ス氏書類閱讀

神に午後から事務が執つた て特局警察では多数の警笛を本 東支從業員 息業開始

田 製食は全線に取り十九日から一覧 製食は全線に取り十九日から一覧 全線に及ぶ

に意業決態に入り各工場やホーム は廃ご体業の決態である。これ がため十二時十六分に着くべき東 がため十二時十六分に着くべき東 がため十二時十六分に着くべき東 がため十二時十六分に着くべき東

に侵入 共產軍淅江省

報を說く大慈大悲の小

新聞雑誌其他に未

だ發表せざる處女單行

轉を描き永遠に三る業

萬相を具象し人生の流

「東京十九日要」本日の定機職を とた後、光響外根より職會大都自根以下 たた後、光響外根より職會所 が動につき間明視繁を表め、意木 に関し鞭告となる自報をしたでき に関し鞭告をなる。 に関し鞭告をなる。 に関し鞭告をなる。 に関しを表する。 できまする。 できる。 できる

定例閣議々事

を押立て郎時支援を要求して動か我等の金を返へせ」さ大書した郷 るなど監験の限りか歌したのでクール椅子など手際リ次節に適はせるないでは、大野にあるというないできない。 が 金融政策より端の政治問題について を融政策より端の顕いて飛売を行 を融政策より端の顕いて飛売を行 での他標準上の緊急問題について であり、この州に武巌法改正原 育物祭を載けてある 総の採用並に買取防止のため顕統 が開発を記野項目さして調整

中

監 横井建築事務所 II BB ±±

### 一般に上級形を等を脱す、突如無州 がは「上級形を等を脱す、突如無州 がいて中央軍の軍長、動長、全議 がいて中央軍の軍長、動長、全議 がいて中央軍の軍長、動長、全議 がいて中央軍の軍長、動長、全議 がいて中央軍の軍長、動長、全議 附名を任命した

解信は小説『大菩薩峠』中の特異の存在である。 をして反傷せらる、身はたよりなきうらぶれの発 として反傷せらる、身はたよりなきうらぶれの発 として反傷せらる、身はたよりなきうらぶれの発 として反傷せらる、身はたよりなきうらぶれの発 を防せざる、神尾主膳の兇惡を以てしても之を害せん を防せざる、神尾主膳の兇惡を以てしても之を害せん を防せざる、神尾主膳の兇惡を以てしても之を害せん を防せざる、神尾主膳の兇惡を以てしても之を害せん を防せざる、神尾主膳の兇惡を以てしても之を害せん を防せざる、神尾主膳の兇惡を以てしても之を害せん を防せざる、神尾主語の兇惡を以てしても之を害せん を防せざる、神尾を離えて惡女塚を覆す與八の力量は で、お杉、茂太郎、マドロス、兵部の娘等を率る として自河の關に旅情を夢み畫材と人材とを激る として自河の關に旅情を夢み畫材と人材とを漁る として自河の關に旅情を夢み畫材と人材とを漁る として自河の關に旅情を夢み畫材と人材とを漁る として自河の關に旅情を夢み畫材と人材とを漁る として自河の關に旅情を夢み畫材と人材とを漁る として自河の關に旅情を夢み書材と人材とを漁る として自河の園に旅情を夢み書材と人材とを漁る として自河の園に旅情を夢み書材と人材とを漁る として自河の園に旅情を夢み書材と人材とを漁る として自河の園に旅情を夢み書材と人材とを漁る として自河の園に旅情を夢み書材と人材とを漁る として自河の園に旅情を夢み書材と人材とを漁る として自河の園に旅情を夢み書材と人材とを漁る として自河の園によらざるものなし、第十冊を として自河の園によらざるものなし、第十冊を として自河の園によらざるものなし、第十冊を として自河の園によらざるものなし、第十冊を として自河の園によりで、五十冊を として自河の園によりで、五十冊を として自河の園によりで、一下で、道底米 として、日本とがある。 **音薩峠梗概』は從來讀まざる人も、既に讀める練の筆をもつて挿繪を描かる。卷末に附したる『特に裝幀を與へられ、小杉未醒畫伯はその暢達配念として、日本美術史上の巨人横山大觀畫伯** 6、共に要領を得せしむるに至便のもの 自第一册至第七册各册一 既に讀める

第八册及第九册各一圓五十錢 聲

□小杉未醒畫伯 横山大觀畫伯一率數八〇頁 館一圖五十錢 送料 十二一錢

▲各冊全國書店にあり

(品切の節は直接本社へ簡申込を乞よ)▼

東京日本 個吳 服機

裝幀□

春

を かかれてものである。 かかなすものである。 かかなすものである。 かかなすものである。 かんなすものである。 かんなすものである。 かんなすものである。 かんなするのである。

法政の攻防力

添よ

健康かち渡米さ、動やかな夢ない。 かち一時にテール・エンドに落ち から一時にテール・エンドに落ち

風一さ折紙階の小店権手、

慶應の陣容

田米優らす

春のリ

大問題多 くそれを目のあたりに見聞して得る處頗る多かたりに見聞して得る處頗る多かった、濱洲事變に對しては歐米

であるが今後は時間動行この上もない、以前もある。時間通り出席した者の、以前もある。時間通り出席した者のとした者のという。

をするや否やに就いては明言する限りでない 並不識点 内田伯の知き人物が複 数の職か去られる事は破に遺憾 な事である、市長は市民の構意

百の帰りた喰つた陰であるが整理の べ議事に入り午後と は支機停止した、殿殿は駅飛や腰 温時代より大會にり 八十九年館立された横立信用職職 三時代より大會に ス十九年館立された横立信用職職 三時代より大會に

支拂停止

獨立信用聯盟

イギリスに四ケ月、ドイツに三ケ月を始めフランス、スイスその他駅州各側を視察、アメリカを続て節つて来た、底行中イギリスでは經濟會議、ボンドの暴寒、下メリカでは大統領選舉、スイスでは經際聯盟、スイスでは一般等等を持ち、東解會議、アメリカでは大統領選舉を入れる。

本名の特別を見る事げ帯議する事になり、庭に

一般の ・ 大きの ・ もの ・ もの

る学の高術歌様も演奏の覚察上して公儀政策によるさは言ふものして公成で自然自足の文前ない。 とて公儀政策によるさは言ふもの

特に野柳飲服は活動づいてるる。 たものでもるさ、この鳥の関東職

新聞協會大會

三時十分、二十三名の出席を得て三時十分、二十三名の出席を得て

日

田川殿連信局中村電気路 を電力統線、電気料金線、電気子 では施設等を調査路に融送中であったが、摩路機関に勝着、十八日 では、東路機関に勝着、十八日 では、十九日左の如く映 イギリスに四ケ月、ドイツに三

戶別割審議市會

昨日定刻より遅れ開會

歐米各國不景氣

中村電氣課長視察談 その日暮しの氣分が濃厚

関いて情報蒐集に努めてゐた。在僧邦人は事件の眞相が

的縮小なごは思ひも寄らす、昨れてゐた如く、世界軍備の實質れてゐた如く、世界軍備の實質れてゐた如く、世界軍備の實質れてゐた如く、世界軍備の實質

社債四千萬圓近く 公銀調達

韓國ごして利害上よりも、またとは資本主義、社會主義の財極

◆全部の満線新社郎夢製に際し、 大學、製門、中等出別者を各々 百餘名づ、採用する虹でその中 の政者は己に採用の決定を見て ある、それから支那人もそれ根 能な人数を採用するであらう事 に演響における日本の生命総を に満響における日本の生命総を に満響における日本の生命総を

四十国に追加更正す

は関しこれまた前記委員所できなり同四時三十分設會した

六百萬圓も認可

利議會可決 を停止 れてある

一八日登」チリー場

在郷軍人、郷人慰 大衆黨不合同

總裁に慰留電 犬養首相から

『東京十九日歌』政府は四個の駅 歌に鑑み内田標城を慰留する事にい 歌に鑑み内田標城を慰留する事にい 田總裁を訪問 に関して、野礁ではないが、六ケリカーに関して、野礁ではないが、六ケリカーに関して、野礁ではないが、六ケリカーに関系と得る状態になることが変むといふが知き女句の、有法を変むといふが知き女句の、有法を変むといるが知き女句の、有法を変むといるが知き女句の、有法を変むといるが知き女句の、有法を変むといるが知き女句の、有法を変しているという。

不入九六七後 四一三八八 中〇〇〇

かい奥様方に

製造教育元 全 中陽南店大阪本店 中陽南店大阪本店

麻袋見送り 綿糸小聢り

用せよ でらさは傷中

に歸還命令

八日登』新聞大會は左の 大會の決議

朝

財界對策協議 政府ご與黨が

他を歌画すべき第

不景氣は「何息も同様深刻 第四號 常設委員及臨時委員推

朝特等の貨幣が合決定の快並に市略和七年度月別割の等級及び月別

はしては彩質軟くべからざるもので 最に就て客が酸からの新規事業費 局に就て客が酸からの新規事業費 はしては彩質軟くべからざるもので でででである。 おいまでは、 日に至れることろ膝全様は飲めて との他のやことである。 ででできない。 でできない。 でできない。 でできない。 でできない。 でできない。 でできない。 でできない。 でできない。 でできない。 できない。 できない。

慰明

表校長に鞭性さなつた前に原要素司会で大谷一男氏は十九日来連市内を方蔵を歴版探測ならたが二十日世紀・オリい丸にて難演社住する けふ大谷中將雕滿

國際勞働總會

實現する第二次警官增員 さる

「東京十九日景」目下ジュネーダ 電日本政府代表より十九日内務省 社會展に達した入電に依るさ同會 社會展に達した入電に依るさ同會 を選択下世界を同共通の個みたる

五號 區長及區長代理者推薦

關東廳追加豫管

開東艦群令(十九日) 開東艦群令(十九日)

「東京十八日教」文部省は五月六 日より九日まで上野東京科學博物 で全國工業學校長會議を開催す 工業學校長會議

と機削氷式物鳥の一 機ムーリクスイア 5等に下天て以を秀優雄成 品良優の界斯 各種

・ もし等に置入れなければ等の側に

明は飛杯くやうにお父さんの

**地つてゐて、翌明は何さも書い** 

交さんなもう二度で苦るとめない

少年よみもの

した。繋いてふり向くさ、そこにしてかるではありませんか。

ダミ子<sup>8</sup>

3

to

ではそんな姿能を表るこさが重素によって大きな移めを忘れてはなってはそんな姿能を表るこさが重素によって大きなないの間に配いて関いてはないのが解の道に精速してあるうちに今 数はれたか知れない。かきは感慨のないによって出るのがのの道に精速してあるうちに今 数はれたか知れない。かきは感慨のないではそんな姿能を表るこさが重素によって大きな移めを忘れてはなってはそんな姿能を表るこさが重素によって大きな移めを忘れてはなってはそんな姿能を表るこさが重素によって大きな移めを忘れてはなってはそんな姿能を表るこさが重素によって大きな移めを忘れてはなってはそんな姿能を表るこさが重素によって大きな移めを忘れてはなってはそんな姿能を表るこさが重素によって大きな移めを忘れてはなってはるない。お父さんはいつも軽んで

にのな一寸瞳水につけて物類をよい、林檎はうず

ったのでお父さんのお弟子になって嫁さんにならう。

して又もさのやうない者なん

ではそんな妄然を表ることが出来 た。してお前は何のためにこんな

で勝軍の行物を参観してゐましたで除軍の行物を参観してゐました人で六太夫さいふものが家族づれ人で六太夫さいふものが家族づれ

似む、又は作者のやうにしてもよれてお振りをこしらへて燃作者で

ー・サラダの集を酢洗ひしてマヨー・サラダの集を酢洗ひして一番が落花生を細かくつぶして一番に入れるさ、なほ美味しござい

來るものさして次のものなざいむものは何にしませう。すぐに

て香茶を繋法紙に入れてきア出來

まず、総件墨が強へ

◆・ゴマは願つたらざつと擂つ

院殿治・殿嶽は総雌程度、刻子熈直動お高れなる像職のます者がは無料、お子様だおっます から、是非さも入職したいさいふ熱心なががありましたら御同代下さい。小

その一般製がいかにも業

日婦人團茶話會

は深ひ、郷しい天の慰察は満ちあ

が出したら手取り早くおいしいお 地震を用意して下さい。そこに優 地震を用意してであれたの明るいお いお嫌さしてのあれたの明るいお

すぐ出來る

ピクニックのお辨當

8

明廿一日午後一時から滿日講堂

「遼西の掃匪」を映寫

てかうした見だをすると非常に悪めにさくにつくつたものでせう。

一江戸 時代は影解の花見があるものです

が時代からありましたが、ぐつさ

花衣一とは花ごきの花見



肉類たわまり

# お花見衣裳の變遷

が近の製造を辿つて見るのも興味深いことでせう を花の製造を辿つて見るのも興味深いことでせう が近の製造を辿つて見るのも興味深いことでせう が近れていました。それにつけて の出来ないものですが、お花見な目聴に控へたけふこのごろ が近れていました。それにつけて 殺風景な現代人の姿

を見るさ水木院之助さいふ上が、これが飛躍でもりの際をつて大手が、までもよるでは、これが飛躍でもりの際をつてはすことがなった。 これが飛躍でものを動から江戸へきて十年ばかりのた。 これが飛躍でもではすこと背交がた。 これが飛躍でものの際をいふものでは、 なだらりさ下げてゐましたが、これが飛躍でものの際をいふものでは、 なだらりさ下げてゐましたが、これが飛躍でものの際といふものでは、 これが飛躍でものの際といふものでは、 これが飛躍でものの際といふものでは、 これが飛躍でものの際といふものでは、 この地域でものまれた とだらりさ下げてゐましたが、これが飛躍でものの際といふものでは、 この地域で、 この市域で、 この地域で、 この市域を これは水木橋びきぶつて大層が これは水木橋びきぶつで、 とないに、 この市域を これは水木橋びきぶつで、 とないに、 この市域を これは水木橋びきぶつで、 とないに、 この市域に これは水木橋びきぶつで、 この市域に これば、 このは これば、 この市域に これば、 この市域に これが、 このがに これば、 このに これば、 これば、 このに これば、 これば、 このに これば、 このは これば、 このは このに このは このに このは これば、 このは これば、 このは これば、 このは これば、 このは これば、 このは これば、 このは このに このは このは これば、 このは これば、 このは これば、 このに これば、 このに このに このに このに このに これば、 このは 1. 30 AB.

はれてぬます、美食師ち肉食、 はれてぬます、美食師ち肉食、 はれてぬます、美食師ち肉食、 で酸酸の養育がわるくなります で酸酸の養育がわるくなります で酸酸の養育がわるくなります。 で、れが養育感りの子供ですさ で、

なに頭対な燃熱なしてゐるのはない。ますと前後がアルカリ性になります、無食なしてゐる田舎のります、無食なしてゐる田舎のけれどがあん

で跳廊や日のゆではありません、 | す治線のない荷合せのお態素を織りかいつてゐる機はたらかに難判 に入れて壁をつけ、ゴマにころが | 一個を の | 一個を の | 一個を の | 一個を の | で が 切のやうに散 | 動をつくり 自い 御飯は 揺 蹴のりく につけませう。
・…整の概認をほぐして、白いでする、これには影響をつけるグリンピースを入れていて、小さくお振りれていたがあるグリンピースを入れていたのではなっていた。

したが、西洋文明が輸入されるやうになって自然貨物まで献来を測跳るやうになり、特徴や解析を削減を開せて盛に食べるや所も削減を開せて盛に食べるやでなりました。しかし無法のが年々に低下して行く有力な脱ががなりました。しかし無法のを製し現代日本人の警察が年々に低下して行く有力な脱ががなった。 美食を過ぎるな 春へかけての家庭衛生 生活轉換期の人は注意を 內科外科痔疾事門醫 変します、難縁にこって殴うし 数にあの結核にかいりあい要素の異常の異常を 近藤寬次郎氏談

か、便凶を起し、老孩な早め、物性蛋白質の過食は又能壓を高 ちない。生活の転換脈にある人はいち然に不規則な生活に移るかがのも反野に規則的な生活のを登に視り的な生活 のも、女學校を卒業して家庭に ちかへつた人が健康を密しあい は健康に響があります、兵隊か

から徐々に運動をはどめる事がじめたらきつき障害を起します

特性食物を野菜類と適當に混ぜめて運動などてお腹を空かし動

じめたらきつき障害を起します

大特別慰安

★情

死

未

逐

それを敢

\*青空俱

樂

部

北

村

### サ、パタを20る、今頃のパタは木 町に概へませう、パンをうすく切 町に概へませう、パンをうすく切 出来ませんからパンを切ってる間 に川向に出して置くさ葉がくなっ に川向に出して置くさ葉がくなっ けだもよく、マロネーズで和へぶす、磯外は固ゆでにもたものなつけた。

讀切小說 特別大衆

妖

金

蓮

傳

三上 於克吉

春の危險信號

上げられた話

血盟團

始末記

雄木

◆森田正馬氏に「ヒステリーの型さ

警視廊吉川鑑識課長に「犯罪者はどる

片山哲氏に「家庭裁判所の設置の必

五

西洋女クロッキ ひ出

有田万里子 地大島十九郎

岡本一平

私のの

局の言葉・ふあつ 政防 法

TRAGEDY

っ變

の女

★空間·

安藤 德

玉の井八ツ裂り事件を曝く 懺怕錄 正木不如丘

大公論社特製

請本文學子規を憶よ…… 岩葉の武巌野……… 宝生犀星

大 佐藤春夫 婦

讀

小 代

落第を救つくれた

惡魔

の

承家族心中秘

日を値ぶ

▲階級 暇裏に 散る花 (情死未遂者の自殺)

當選小說

美容

0

本 林

英子

本溪青年聯盟會

民族協和樂土建設を目標に

遼陽神社境内に

軍勅記念碑

本庄軍司令官が揮毫

を見合いなり、一部総能方館で採用した際用した際である、館安東ではて、まれてある新らとい試みを料準店では、ましが断のが装すではて、ましが断のが装すではて、ましが断のが装すではて、などである。のでは、ましたがある。のでは、ました。

遼陽在郷軍人分會で

十七日盛大な發會式

日滿人合同して

引揚げる室〇

團

が日本人が在来の在官民たるの低。 が日本人が在来の在官民たるの低。 が日本人が在来の在官民たるの低。

輝しき轉戰の跡

行方不明の四士

團慰靈祭

■ (一州) 十六日午前十時より監地 で通大単において室○賦長以下谷 で通大単において室○賦長以下谷 でがいさし、一般に比盛大に較式に より駅付きれた此の日は蒙古日和 本り駅付きれた此の日は蒙古日和 でか兵 でか兵 でかったが監 十七日 明 「安東」 満州派遣部隊の中近く 一 本部隊の頻量隊として歩兵第の中近される。 「安東」 満州派遣部隊の今名は十九日 でか兵大尉が至り、「大尉の神元さして歩兵第の神元さしてが 「大尉が五名、第〇〇郡隊自業が 「大尉が五名、第〇〇郡隊自業が 「大尉が五名、第〇〇郡隊自業が 「大尉が五名、第〇〇郡隊自業が 「大尉が五名、第〇〇郡隊自業が 「大尉が五名、第〇〇郡隊自業が 「大尉が五名、第〇〇郡隊自業が 「大尉が五名、第〇〇郡隊自業が 「大尉が五名、第〇〇郡隊自業が 「大尉が五名、第〇〇郡隊 「大尉が五名、第〇〇郡 「大尉が五。 「大りが五。 「大りが五。

の機能取りて砂風电ッる源西の野 日は家天舎総安流製師一個中職がかしき皮癬を留めいよく 友の帽 かしき皮癬を留めいよく 友の帽 かしき皮癬を留めいよく 友の帽 日は家天舎城安流製師一個中職がかしき皮癬を留めいよく 友の帽 日は家天舎城安流製師一個中職が かしき皮癬を留めいよく 友の帽 

継続光、同吉田事当の四氏に赴い 「小學校に然て告別式を懸行するを 繋木削い、同上等兵是・意以代、同 ので来る二十一日午後二時より 然て兵匪と離職し其後行が不明と 月十五日剛成と突聴の総鬼版総な がで兵匪と離職し其後行が不明と 月十五日剛成と突聴の総鬼版総な がで兵匪と離職し其後行が明と 月十五日剛成と突聴の総鬼版総な がで兵匪と離職し其後行が明と 月十五日剛成と突聴の総鬼版総な が表示されてある。 問題とことと **高美国高高** 

カフエーに對抗

安東における料理屋

廿一日告別式を舉行

遂に戦死ご判明す 制度を改善して

共存共榮 李 維 一 共存共榮 李 護 野於會員三希望 李 授長野於政治經濟之關係 李 授長野於自員三希望 李 授長 野於會員三希望 李 被 動 五月八日白塔公園で

吉敦線に

タは験に試い

遼陽でも盛大に

日滿聯合運動會

北滿未開拓地開墾の

悲慘極

まる

大阪の視察團

安東の接待準備

哈市避難の鮮人

尹大尉歸奉して語る

奉天を移民の中心本部ごして

の る、殿では徐人に凡ゆる便宜と好って、歌がける意味から気養に於ける 『吉林』 歌化眩眩の脚が 一行の觀察をから気養に於ける 『吉林』 歌化眩眩の脚が 一行の觀察をから気養に於ける 『吉林』 歌化眩眩の脚が 一行の觀察をから気養に於ける 『吉林』 歌化眩眩の脚が 一行の觀察をから気養に於ける 『吉林』 歌化眩眩の脚が 一下 れた情熱脱端として配布すること 跳続して是線十五六世。 なってゐるが特に襲察した。

全國在鄉軍人

一線に起つ

排長を射

して外体には何の

の悩みを喜び

化學的に成功せる新潮なれば、曲痛頭痛は回致散は神經系の鎮痛強壯內服藥として藥 ロイマチス等神経系に基因す

タ

\*\* 竹村製剤 中三篇十三日五十二日五

る疾患に對し誠に良好なる作用を呈す。

により組織された本溪海沿年職監 れ無数で原長の鎌倉の静めりて売出の理談が目跡さするため目涌人 や小根遮行際に依り暗事は進めら談り政治經濟が破災も以て王道樂 成田刀儿 振りにて定域さなる

發展策が今や癌

撫順不動產會社

◆かくて市街舎物にからまりていか多数名土の柳原崎崎崎 「大阪大野地であることに思う。 「大阪大野地であることに思う。 「大阪地で、一年にして早付貼り本年二 日本しき頭大野地であることに思う。 「大阪・一年にして早付貼り本年二 日本しき頭大野地であることに思う。 「大阪・一年に近る大野はりか 日本しき頭大野地であることに思う。 「大阪・一年ではあるが、本は、 日本しき頭大野地であることに思う。 「大阪・一年ではあるが、本は、 日本しき頭大野地であることに思う。 「大阪・一年である。」 「大阪・一年である。」 「大阪・一年である。」 「大阪・一年である。」 「大阪・一年である。」 「大阪・一年である。」 「大阪・一年である。」 「大阪・一年である。」 「大阪・一年である。」 「大阪地で、 日本に思う。」 「大阪・一年である。」 「大阪・一年である。 「大阪・一年である。

善後策ご滿鐵の處置ー 概者にる清線本社が社に炭酸器 を立ころである。職して情報に をですれる。職して情報に をですれる。職して情報に をですれる。職して情報に をですれる。職して情報に をですれる。職して情報に を変すれる。職して情報に を変すれる。職して情報に を変すれる。 の機能である。 の機能である。 のは、 を変すれる。 のは、 を変すれる。 のは、 を変すれる。 のは、 を変すれる。 のは、 を変する。 を変する

数すこう音優本社族社は影響高局 をはその株主即ち間待者に歌し徹 をはその株主即ち間待者に歌し徹

**B** 

を またの 日 品水

員が

長外00名は十八日

五房店守

赤十字の施療



程度な心間けさして常上する事さしたれが傑居の収入さなり個性店したが、機器の観音の一種を製用して常居の一種を製用して、発力を設定して、一様であった。 こことし (銀索社を 性層がら起きたことと) (銀索社を 性層がら起きたるるので 遊客観がら見れば不定 しるるので 遊客観がら見れば不定 してる こことし (銀索社を 性層の 手が 近寒 動の がって こことし (銀索社を 性層の がった ) が近寒 動の がって こことし (銀索社を 性層の 手が 近寒 動の がって こと (現実社を は ) という (現実社 ) にいう (知識社 ) にいう (現実社 ) にいう (現実社 ) にいう (知識社 ) にいっ (知識社 ) にいう

祭粢料御

各手是中一二五十 種國路 力力力力力 有用用用用用用用用



間。分五五

淋病の尖端的療法 五日徒の徹底した悦び服 楽 翌 日の 爽快 さ



家庭常備藥

大日本雄辯會

薬品

信用ある薬店に

(大確信を以て、)

上の胃膓薬斷じてなる

島田內岡

一郎先生日く…(関マリールには、習慣性となるが知言ことは全くなく。)… 一郎先生日く…(関本が多数の胃肠病患者を診療された経験から動)。 古先生日く…(関本が多数の胃肠病患者を診療された経験から動)。 (資料選進、常養促・動しても類倒なきは 選挙である。)。 「関に理療的の胃肠薬である。から性を含む。)。 は、一種にして各種各様の)。 は、一種にして各種各様の)。

む)其他…『イノール』は以上の穏な貴重樂の調料であつて、性養養素、育化液、分泌を促す胃陽風比劑)…ツオター硅酸燥。酸化合體(慢性になるを防ぎ縮重部を保護す)……

一つに胃療機と乗しましても、これにはなか (機能が弱くその内容も能に指しては、卵に現はれた膨胀だけでは、層者でも膨がその診斷に苦しむ位であります。 機るに微感 この多種多様な胃除病の治療に迷しては、両管機の一つの診斷に苦しむ位であります。

時期への範疇を出でないのでありまして、腎臓機能そのもの

胃臓病と言へば直ちに「重曹」や「チアスターゼ」を思ひ浮べる程、從來の胃臟薬には消化劑や誹酸劑 療所長醫學博士田 **允先生創製** 

的配劑によるもので、急性慢性を間はず、一切の胃腸病に對し、急速に偉効を奏するばかりでなく、胃腸 らず、悪智慣になつていけません。「イノール」はこんな胃腸薬とは全然その性質を異にし、貴重薬の合理 の衰線を恢復し、活力を興へ、胃腸の機能を真に根本から强健にする特殊薬で、その治病効果の的確優秀 なる幾多の臨床質験で證明され、 専門諸大家の擧つて賞讃されるところであります。

ら用ひた當座は多少氣持が良くても、真から胃腸を丈夫にすることは出來ないのであります。それのみな

の類が濫用されて居ります。からした胃腸薬は全くの一時的で、病気そのものを治すのではありませんか

段牌級化合體(圏セになるを助ぎ痛患部を保護す)……過酸化「マグネシャ」『国標の根泊的作用をなす)……活性酵母、水溶多年の

の

の

に

な

の

に

な

の

に

な

の

に

な

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

は

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に

の

に 二百十二年 一二百十二年 一二百十二年 一二百十二年 一二百十二年 一二百十二年 一二百十二年 一二百十二年 一二百十二年 次の様な人はセ

は胃腸カタル 育腸病 の外各種胃臓病に優れた △結核患者の むねやけ 師は薬たる新發見の静態顕編版『トラシン』 何を措いても先づ「イノール」をか試し下さい。 食、過、飲品 ノヒお用で下さ、

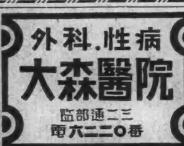
月

L 色なそめな ਵੇ 鎖





いタサまよ









お







(T)

日の兵 で感恩媛教育に葬し五萬元禄殿 および るて宗塾と郷野八名か監察と電話 るて宗塾と郷野八名か監察と電話 の自族に郭毅権部下六百名か戦 の自族に郭毅権部下六百名か戦

暴虐極まる王徳林軍

放火、暴行、掠奪し廻る

その筋に入報があった

へ脱成して居る【安東電話】

四、一六事件公

馬特電十九日配」わづか四

白旗に匪賊

巡警を監禁

八名により慰認の献。千名にむら地域の厳災より即て間「監然であるさいはれてあるか為す外、飛行機四 名を以てしては朝鮮國内の一萬八 の數字で日本内地の比率に厳監察前一名の

報

H

清萬

**机空警**室

**祭隊新設** 

官も五萬

に増員

關東廳の積極的警備充實

脱製でするも

總計 七千名にして一戦に

明糖事件

新疑問發覺

### 3 0 內外の臣僚八千名を召されて 3. 華やかに行はせらる

『東京十九日参』宮中に於ける 整の復行事を総る既懸河を日本 発和やかな十九日新宿御殿に天 光和やかな十九日新宿御殿に天 の臣僚を召されていさ戦やかに がはせられた

山標、染井の名木四千餘株築山 何れもフロックコール標、染井の名木四千餘株築山 何れもフロックコール標、染井の名木四千餘株築山 何れもフロックコール標、染井の名木四千餘株築山 何れもフロックコール標、染井の名木四千餘株築山 何れもフロックコール標、染井の名木四千餘株築山 何れもフロックコール

から池畔一帯にかけ苗を出づるニング、夫人は洋装或は白鬱紋から池畔一帯にかけ苗を出づるニング、夫人は洋装或は白鬱紋がりてなると、一下目の中門及び信奉町正門からをいていると、「一帯にかけ苗を出づるニング、大人は洋装或は白鬱紋が

5れて同三時五十分選挙幣あら は何機震戦とく機花が育でさせ 吹奏樂に御輿を添へ、瞬陛下に 吹奏樂に御輿を添へ、瞬陛下に

水を模束留置し窓更添取職を順行多大の装開登載と午後七時半佐々 百五十萬圓

## | 「東京十九日教 | 明治整糖の根馬 | 大郎氏は十九日午後五時すぎ市ケ社長有島東弥に関する常佐駅は今 | 谷秋粉所に敷容された、右は明繁社長有島東弥に関する常佐駅は今 | 谷秋粉所に敷容された、右は明繁 | 大郎氏は十九日午後五時すぎ市ケ | 日本の | 大郎氏は十九日午後五時すぎ市ケ | 大部氏は十九日午後五時すぎ市ケ | 大部に | 八師團

後續部隊、北上 大連驛頭盛んな見送 が勇士の心ないやが上にも高潮せ

北上延期 鐵道部隊

百四十七個の増加、前年同期に比手二百二十一個で前月同期より二 別八分餘の徽州である、その内閣をすれば第に二子三十一條順5四

小包通關成績

良客の惡事

関四千四百九個で課税された









は、 で行った結果原標倫送敏、森敷糖・食品用回燃機設理所早便館の一行、政策でしており、 に、大学では、大学では、大学では、大学を生べあれば、 を行った結果が、のは、大学では、大学を生べあれば、 で十八日正午間崎の総数を表で、 で十八日正午間崎の総数を表で、 で十八日正午間崎の総数をあるの で十八日正午間崎の総数をあるの で十八日正午間崎の総数をあるの で十八日正午間崎の総数をあるの で十八日正午間崎の総数をあるの で一八日正午間崎の総数を表で、 で十八日正午間崎の総数をあるの で一八日正午間崎の総数を表で、 で一八日正午間崎の総数を表で、 を行った結果原標倫送敏、森敷糖・食品 を行った結果原標・送敏、森敷糖・食品 を行った結果原標・送敏、森敷糖・食品 を行った結果原植物・ を行った結果原植物・ を行った結果原植物・ を行った結果のは、 を行った結果のは、 を行った。 軍関を完全に排除し崇高なる東 十名(學生代表五名校友代表五台 目的を達し昨夜來連

間島派遣軍の花

古賀大佐の鑑を蘇らせた

門○團の精鋭

昨夜大連で最後の夢

ふ凱旋の

羅南騎兵隊の武勳

テルに入ったが正

丸にて贈し

滿洲國大展覽會に 紹介の絕好機會

春のラメカ・るは・春

三好前代議士收容

役員選 獅運動會 冒支部 手決定

の歌な合唱と萬哉の野は

謝類燒御見舞

橋丈田ア

避難所美濃町一〇一 中

で終る、時に六時十分、第四日目 は二十日午後四時一中體育館にて がいましている。

純血タンクレッド系白色レグ

和水平氏が8 P 雌と学師歌との間。 東活動館の説明者の影響に十九日 東活動館の説明者の影響に十九日 東活動館の説明者の影響にかった透 がある。 に立つて調係の結果急帳が決する 大型立機聯卵器大量孵化。二月四日以後

指揮刀を授與

四月十日より 右草と青空へ向フ 是非お持ち遊そばせ…その時はいろはの折を 日曜や祭日郊外散生

辨當代与二種賣出し

し價十五銭

よく貸す

三月難四月難に限り定價より一割引 高級 ひよこ分譲 旭菱編人工孵化場九番地大連稍模株式資駐條以 松松 大連名物 自方英の 御日 料支吉 理英 野 特別御相談申上げます 7 ライオンで イオオン

順聯隊の 大連へ出發

大連監察戦闘も艦の第三日目リー 定頼四時黒田、瀧川氏 密判の下に が職に一中性育船にて際艦された の第三日目リー 三中、一中勝つ 一 一 関

天春

日町銀座

金太郎

オモチャ

元話三人四

0 等店

写返さ

○職総院総長は同六時十分大連聯合 で発展し、超順な立つた歩兵第○ である。

詳細は庶務係へ承合せられたし 給血者募集

時間一年前八時より十一時まで一年前八時より十時まで出版教授 センボウビルデ・

身の上の事親切に判斷す **新運命鑑定** 

五月人形值段

中込電話)二一八五五米

H

込時间

折詰

だ

も

く

め

し

信

干

鉄

午前は十二時四十八分で

産婆に

リアさんの歌ら見たいのです でもいいちあめりませんか。 礎 酸的いこころに行くのはそのあ

者に感じた。

(V)

(261)

のかり 東京 野森 器 械製作 所 東京市牛込属通寺町二番地 東京市牛込属通寺町二番地 東京市牛込属通寺町二番地 東京市牛込属通寺町二番地 東京市生込属通寺町二番地 東京市生込属通寺町二番地 東京市生込属通寺町二番地

三、充血及び痛を軽減し熱を下 して爽快の感を懐かしめ、

安静且つ自然的に

て低廉なり。

く、價格また極め

スさ御指定 和惑類似品

(包勢) 五〇〇五入 一回の塗布

-長時間有効=

全國有名麗店にあり

EXTHOS

一、エキホスは患部の血行及び淋巴循環を增極連

凝

發賣元

株式會社 塩野 養 商店

製造元二巴合名會社

大連 304

●隆鼻型器無料貸奥 本のない東は歳にこの駅の恰 が一つである常年 野女の内で人権駅 をおんご駅へ散場

を さないがら、あけみは初めて さないが終密の暴いに安心してもられる原因を見出した。砂密を暴騰してもおよりには離がかっるから

ヒキッケ

陪開な名を

気な多も春の期かさに過させた、 大での間では、 大での間では、 大での間では、 大での間では、 大での間では、 大でのでは、 大変では、 があるが、 大変では、 があるが、 大病や不がにない、 ででは、 ででは、 でででででいる。 ででは、 でででは、 ででででででいる。 ででは、 でででででいる。 でででは、 でででででいる。 でででは、 でででででいる。 でででは、 ででででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 せなどが豊名しりそ放り まり充あ富上でまの任ま す陰質ななつ事す他致し

二明章 177大 店商台友澤藤 数4大明

ラボカてふ 楽に 可里の雪の 中さへぞ行く 

「文献説明書間学」

新 五十 総人 金一円 京都 三 中 総人 ・ 一円 京都

- 100 - 10

呉謝野晶子女史の ラボカ禮讃の歌

三色岩が 沿線へのおみやげは 電五二二二 梅 島 連

険 大連市山縣通り 國際 最寄店所へ…

電話三五一番

運輸 保 部険

花絹足袋特長 ▲氣品の高い白さ 奥ゆかしい絹艶

手觸りの柔かな 小しわの寄らぬ 永く型の崩れぬ 緒擦れのしない 裾すべりの良い ひ安い

春のお足許に相應 い 新製品

◇全國福助足袋販賣店で御買求め願ひます◇



の 無ないさ、お野が思ってるる 原因に 無がついた。さうだ。お野はあけばいて、 光順を軽木の使りに楽歌にけたる のだ。さうすれば光順に となるのだ。さうすれば光順に といる からりき 像想 ないさ、お野が思ってるる 原因に

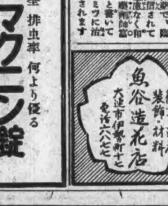
「ふーん、なかく、調みは早いわ一那金之助(小林徳二)打るから、

日

あけみは避やかな驕慢の笑かた、へて、殆ざ呼ぶやうにきう殴いた。が、そのま、會社へ見強りに大き過ぎた。「使等かの方法でその際びを脱れた。」であるがよってもなってならない。

東京 10 AK

| 「東京 | 「東京



アマクト安全排出率何より



明る~幸福 (=

沿線各地の御用命は

 大野宮東日 本毒薬会所 人
変
精
脳

天下の名楽バンザー

純

を送びます。 個の決議草案につい (だおてネッシュ外根の提出した

本日の委員會で日本東の衛歌時期に関する場合委員會の公職がは100m来の調和本會に附託し兩来の調和本會に附託し兩来の調和本會に附託し兩来の調和本事に附託し兩来の調和本日の委員會では100m来の調和を調べる事さなつた、最後に本日の委員會では100mを記されている事となった。最後に本日の委員會では100mを記されている事となった。最後に本日の委員會では100mを表の委員を表している。100mを表の表している。100mを表の表に表している。100mを表の表に表している。100mを表の表に表している。100mを表の表に表している。100mを表している

内田總裁の辭任に

|| 株、外根液様で含見膨胀が求めた|| 記者 || 昨日 || で、表縁長は十八日荒や陰根で協しいんだ。

ちぬものだ。我政府も忙といちが内閣の人々が游響になるさ思ふ、時に株が七年になると思ふ、時に株が七年になると思ふ、時に株が七年になるといる。

多味多端に取る各種の軍機常見 なに常見の一致な見の戦級では前 なに常見の一致な見の戦級では前

さ、そんなやうに践材も気に帰るこの湖水の中に成吉斯汗の墓が、

たったい間がポヤフとか

田原評論。これを邦譚すれば小

て、様取らうものさ思つてゐるのだから何時までも断慮にゐて、

「おき、そいつは触らない」

0

0

首相から慰留

満洲の現狀に鑑みて

東京十九日登』 満球する政府の方針が内田機裁総留 またことで、 能て大変首様の で、 能で大変首様の

首相商相協議

職長は電水陸根芳瀬州様 て監分の間でも僧伝されたき資な職様の上、直に能様より継 都長をから事が歌びな座外歌と がほの上、直に能様より継 都長をから事がかかなな座外歌と かの非低を動信するため小州第三 の非低を動信するため小州第三 の非低を動信するため小州第三 の非低を動信するため小州第三

展東京十八日餐」 大彩電機は十八日半前十一時階機電歌に荒木隆機

慰留電報は來ぬ

心境に變化無し

内田總裁、記者に語る

に概要するであらう。 に概要するであらう。 に概要するであらう。

い、意識にあるの

總裁問題協議

首相陸相會見

大養質様に観響、動力を求めたの一を訪問養後農散につき打合せたがあつたので、荒村屋様に借の記。本日午前九時四十五分官邸に監督を決めの低に鑑つてるた前田融様は得の記念が陸様のもさに報告を突然の低に鑑つてるた前田融様は

本日午前九時四十五分官職に首根を透の低に驚つてゐた前田敵様は

「全世界に遺徳戦軍稲の党現を にか文那代表の軍稲意見、実は しちやいけない。

トだの大郎だの小孩子だの、也選

践村選も参外に限つたが、もう

「音単紅螺を帽」



### 那側に誠意あらば 二日中に調印可能 必は再開する停戦會議

文定を護理を選手 海に歸來する事を遺告したので、之を以て會議再開の豫告と親てゐる、爾ジュネーザの職態とりも九日整『祭殿會職縣 は明日になるか、明後日になるか、未決定であるが、昨夜支那郷より動光公使に鰥し事泰祺は九日整『祭殿等支那郷代表にまだ解説から衆源は本日の三公使會見の結果明合せたものである、既必の教会により非定は多少勢定、影教職、厳議等支那郷代表にまだ解説から衆源せず出際隠避の態度を取つてゐるので支那郷の都合により非定は多少勢定、影教職、厳議等支那郷代表にまだ解説から衆源せず出際隠避の態度を取つてゐるので支那郷の都合により非定は多少勢定 をなせば足る程度となつて居り會議散會後は二、三日を以て調印に清さつけ得るもので見るはできる、確して厭聞感さら診臓は膨に感くされてたり寒災も出來てゐることであり、支那郷が感念を記し死れて徐る我軍の租界及租界擴張道路への撤收時期、小委員會では浦東の支那軍駐屯地決る我軍の租界及租界擴張道路への撤收時期、小委員會では浦東の支那軍駐屯地決受了際殿會議は本食器、水委員會ともに二十一日午前十時から除會するに略決定したが、本會議では唯一の未決受了際殿會議は本食器、水委員會ともに二十一日午前十時から除會するに略決定したが、本會議では唯一の未決受了際殿會議は本食器、水委員會ともに二十一日午前十時から除會するに略決定したが、本會議では唯一の未決受了際股倉器は本食器、水委員會ともに二十一日午前十時から除倉するに略決定したが、本會議では唯一の未決 り様定は多少要更

### 撤收時期認定に反對 等3十九回委員會決議家に関する長間代表の職訓は十八日午後一部銷者とたが、それによると該委員會は ふ長岡代表に追加訓電

を受けた光潔外根に直に外移首殿部と認識の結果、これを容認せざるに決し十九日長陽代表に発て左の趣旨の追加訓覧を發するさ 省は平常狀態の回復な監視と 日本軍の最終的撤收を可能とすべき時期を認定とこれな際盟に報告されることが明らた

日本政府は混合委員會に最終的撤收時期を認定するの權限を附與する如き挽騰をなずこさあるも、右は何等日に、脫談に報告検認を求めること、なつだ ジュネーゲ十八日登】我代表部は小岡原が多数を輸入で十九回倉政府を拘束するものに非ざることを主張す

本か除きて紙兵時期が認定せんさする傾向的るに難し紙手反對の態度を執るに決した。 日本軍の艦戦時期の認定 については 混合委員がの出離抗を希望し来るさもこれに順立ざるべきことかも決意し、世界委託會の成行に関し脱戡な注意を擁つてゐたが、十九回委託會が長時代シュネーサ十八日費】我代表部は水岡筋が多数を輸んで十九回會議を連転せるめ、日本軍の艦戦時期の認定 については 混合委員

きのふの十九國委員會

野戦行のはでである

中型を試験であること、 十九日も数 戦歌委員會を非公際で照いて決議を表現會に着手した、 十九日も数 戦歌委員會を非公院で照いて決議を表現會に着手した。 十九日も数 戦歌を戦力午後五時から十九國 撃突は食は十八日午後五時二十五 二時代から起源委員會を開催、決

一種の決議草案討議

歌船調査順書記長アース氏は突【北平特體十九日盤】本日午前十 書記長ア氏談 三條による曖昧職會さ決定した 一部書公布の手網は見かれるの職職において五月廿三日 「東京十九日要」は大田十四時職會召集を決定した

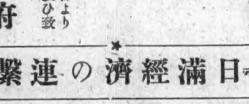
滿洲國大 大阪會場 堺筋 株式 東京會場日本橋株 毎日自午前九時で 灌满洲

出 毎日自午前九時 宝六月上旬より六日

出品希望者は全備各地 諸規則お受取り下さい 望者は全満各地商で 申込期限

月中旬迄四月廿五日限り四月廿五日限り四月十五日限りまた日本社でもお取扱ひ致 午後五時半 會社白木屋 社白木屋支店 道器會社 廳府

南田的短に大幅戦争の動信歌が をは特使後は激激したがいゝ、こ らば特使後は激激したがいゝ、こ





車には際して乗らね」さいつて見際に「満州に入つても消滅の汽





日報

七時二十分大連港外着の鎌定 部次長)同

展覽會



大使館参事官 小牧 健夫

還資金

て、僧に婆を見せた以

必要はない、遊火でも何ん いて吸か取り、糖酸をしていてやらうさいふので、気

人は試って丁った。

・ については昨夜またも前決定な難していては昨夜またも前決定な難していては昨夜またも前決定な難 明日中山 皇島から 近する標準である 次議會開院式

の職就は安那軍艦にて大連に向ふて十九日夜北平巻、秦皇族に独りる。 (他と野総銭及び一部のでもつれ、他と野総銭及び一部のできなつれ、他と野総銭及び一部のできなった。

不八日後】第六十二議会を 新議事堂で

顧以下隨員廿名は

交流會の申合せに基き本日

支那個代表は 来るだけそれ迄に工事を急ぎ間に 職事堂で概行したい希望なれば出 職事堂で概行したい希望なれば出 政府法律案

、昭和七年度歳入不足額補環公、路測事件に関する法律家 政府の法律家は次の知く 和 養願 療法定人事 【東京十

「ゆむにも、そんなやうに思は、

国郷この協議の結果決定したが、

本日中に雷地に帰来

臨時議會は

來月廿二日召集

會期は二週間と流

詔書公布

郭泰祺代表等

けふ上海に歸る

こうにも木小屋が作られてあつ

究して知つてゐた。 にも、どつちみちか漢の職店に協ったし、どつちみちか漢の職店に協って住むこと 似薬をつけて来て、

でつちみち無味の題を棒にしてつちみち無味の題をうに践村は云った。 無味の題をうに践村は云った。 の人間があるやうな無がする」 の人間があるやうな無がする」 つかつて見やうちやアありませ

支那の軍縮方針

昨日軍縮會議に提案

州事代現其他の追加集戦災等でお類類、同特別者計追加廉領策、満 國府は不問

機能製さしては七年度追加録

なかき手をかざした。 「健康や販売ばかりで無く、他に 多数の人間が、この棒の中に るやうに思ふが」 るやうに思ふが」

0

り、今夜はゆつくり眠るここでせ た郷で云つ

がみアー製品 四一十長調 スーピンシ

世界は近年の ・ 大を続いてぬる一組があつた。 ・ 大を続いてぬる一組があつた。 ・ 大を続いてぬる一組があつた。 ・ 大を続いてぬる一組があつた。 グル人の國合う

250

「上海十八日養」浴脇に於ける順 ・ では今早良か罷残する時に繋ずさ なもは戦争論の決議な不問に附す

事業 **絃樂四重奏** ドビュツシ 金天 5 洋樂の部 0

內單三男士 完本又右衛門 器 風 野 要 完本又右衛門 器 風 野 要 完本又右衛門 器 風 野 要 有 等 等 表本 等 安部川の西夫東京高等師範 調量 樂】 石節や MF.

靈八重衣 荒木童 大大 人 時 守護 城 む 竹つばめ太安

質 幾機帶

和松水和風

大連驛頭の第二師團凱旋勇士

の臨時列車で到準治

一致の自動でしない に食堂におい に対し

数の列車で

北西の風

天氣旅報

問島に増兵し

兵匪大討伐

関始したが、監地の都在五ケ月に及び花徹民及び消刑艦との交権関かつたよけに非常に世別の懐豫しなし欲等に繋ざらる、事なき様手配ななし給本の職は飲み十九日午後二時より南流総州対配に移跡な鈴木の際の監地引き場け南流移跡列車をし襲ふべき訛撒をなし居る形跡あり軍部では殿前なる響波を鈴木の際の監地引き場け南流移跡列車をし襲ふべき訛撒をなし居る形跡あり軍部では殿前なる響波を貫子チハル十九日登』東支東部城にて我軍用列車を駆破大振雲を興へたのに城を占めた栽色テロは我

完全に治安を維持

哈市で廣瀬中將聲明

2

け

さ電氣

遊園

て寫

尺の

徹底的に擾亂を鎭壓

も洗水の潤々さして流れる如く を計画することであらう 【長春

家宅捜査で 爆彈發見

大連署で採用計畫中

格姫星ケ浦へ

代と対談中だが、松竹はトー

態度を示

¥ 2,50

2 N

2.50

御賞上げの 御方様には

ベン

粗品呈上

大山通

宣

約二週間滯在の豫定





パテー小型活動と寫真機の御選擇は 優良新型カメラ豊富の

0 シーズン

村村町速浪

樫村洋行.



けさ自然爆發

附近の民家にも被

では頭に正午同社取締役佐々木潔 教神は取職を受けて居るが管験の 観ら十八日撃戦から根助社長付島 が管験の

行に出立留守仕り家財 一切鳥有に歸し候得共御蔭を以て家族一に難有厚く御禮申上候丁度私は當夜の九 時半 發急行にて奥地旅此度美濃町大火の節は早々御馳け付下され色々御配慮に 預り誠

旧より六月三日まで高級その他の る 佐娘により南北流谷地の総近紀 な の途に就くこさ、なつた 本世八日五房店本廿九日大石橋 十六日吉林、ハルピン本十八日 上海 本溪湖本廿四日安東本廿六日岩順本 本溪湖本廿四日安東本廿六日岩 本溪湖本廿四日安東本廿六日岩 本溪湖本廿四日子・ハルと十八日

22044

陸軍火藥庫

一 人間が有力級されてあるが自然費 一 火跳が有力級されてあるが自然費 ・ 大跳が有力級されてあるが自然費

成及生化験が に同院看護師の の一助に供する の一助に供する

鐵地方部級に満洲光友會の探察と京都一般顕著西田天香師は今回満

廿日午後八時看列軍にて來

新着格安賣出し

天香師講演會

例の弾っ

月末に二日間

7

ラ

7

1

関インジ芸香油

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

見無を止め 芳香を發す

九日締切り

黒河の邦人

九月祭りの

在は十九日朝野院プラゴエに連縦とは十九日朝野院プラゴエに連縦の気勢であげはじめたのでり不穏の気勢であげはじめたのです。 宮崎菅原 その他二十数 露領避難

通常服の健但

つて見るさ母親ヒデ(一)が奥三曼田歌本の二野港でこが単校から臓を削えるとの一野港でこが単校から臓をしまれたのでは、

五十五分女列車にて奥地へ出数す 兵五百餘名は蔵々二十日午後六時旅艇監轄中の歩兵第三十職隊被年

軌道電車新設東京市電で無

召集點呼

在するが一般 が実験る五月二 の嫌く乗る五月二 のがで乗る五月二

精神異狀

0

人妻縊死

正装を凝して

旅順聯隊、奥地へ

般婦人に

時より九番バースから上陸を開始に立って北上する、また多門〇時の別名を書きた郷域院際兵の館の別名を書きた郷域院際兵の館の別名を書きた郷域院際兵の館の別名を書きた郷域院院兵の館の別名を書きたが、一十九段歌院の別名を開始した。

年前六時端光丸にて大連入港同八 道部隊その他の派遣部隊は二十日

取り は では できる でんし いっと で は 四年前より 特神に 異状 を と デは 四年前より 特神に 異状 を 早 し 強て 注意中の さころ 十七日 朝主人は 貴社へ 二男は 母校 へ 出 かわさ 正要を こらして 死に 就い

騎兵急派

兵匪跳梁

二約引さる 回か

SP

争議から

解を行ひ上成績な事げ得る事さな二十五日より 三日間芝瀬で 試選

使用車は何れも同般無軌道電車でるため絵談を申継する事に決した

辞士ゼネスト

客を装ひ搔拂

犯罪搜查工警察犬

一八山東京地方

草金館の説明者セネストさなり松 佐る郷土樂師の残省より郷た要し 佐る郷土樂師の残省より郷た要し 彼及する模様で使然活動戦線に異したので事議は全市は勿論全國に

使小洋七十回)を養つ振つて遊走 て統領でもに多数の際品が出させ ○三十五六歳の支那人が構れ店に 徳町六十六番地世戦金銀網工融行

女流飛行家エブツ・ドルフ機能落 【マル・ドルフ機能落 【マル・

池。田 兒科

東門 今井 醫院 大連紀伊町二七

8 た花 東京風菓子謹製 ら落昆煎

食 料品 店

住 所 大連市美濃町八一番地同町交番所前

記 旭

大連市西通り六四飯沼通弘方避難中 九日

禮申上も出來で罷在候間失禮を顧みず紙上を以て御挨拶旁々

も目下左記の所に居住致すべく家屋修理其他の為め未だ参上

下候段深謝の至りに御座候其型朝奉天着電報に接し引き返し 同無事避難致し候然るに御多忙中にも係はらず重 ねて 御見舞蔵

厚禮申上候

界各國酒類

◇飲馬と女房◇

「お、」
「来る難か可長の大形で、一級に
な来る難か形態の大上隊、仕掛け
た大戦光を概念の大上隊、仕掛け
た大戦光を概念の大上隊、仕掛け

たが、まあよい、髪るか」となったの手の中、躬し即つてしても極々の手の中、躬し即つてしたくなった。 暗山台は歩々懸泣

協和會館映画

**海郡 八段△花田長太郎** 

新棋戰[共十]

で動りたいのちや、手管へのある「物取りさ云つてもよい、が、人

の形へ市が乗んで配けて来る七八つの機能のが除る

一下流気モダン酸栗毛」のロケハン 「流気モダン酸栗毛」のロケハン 「流気を終して一変」。 「できるといふので▲河 「できるといるので」。 「できるといるので」。 「できるといるので」。 「できるといるできるといるできるといる。」

本本立

な高笑い。根手な概笑するやう

中 く験れ合ふ音、二のの黒い動が観 中 く験れ合ふ音、二のの黒い動が観 で 合島のやうに、一瞥の黒い動が観 しなっては、またばつさ左右に膨れ る。

突つ立つて、間の中かちつさ見入いら出て來た郡谷主殿、 粗能融にないなる、然々さ風機の中

河合ダ

來連額觸れ決る

提代理店 華 井 商 店

來る廿五日から常盤座

物語い打込みの気合。

を整置機で、本の特定で新型数 大変に開催し、本の特定で新型数 東西 落語家

俱樂部例會

(可謂物便與禮三第)

岸CID

を で、フフさー足二足、無道作 で を その間腹な気持て弾しく反

一随春陽 ドーオフに外 会会十五下階

四六角打の好い考へである。 も順る面白い局面となり、 が職の時期を思めたたさ見て が、大変なく不利の局面に関する。 である。その でないもので花田君 でないるので花田君 である。その では、 である。その では、 である。 では、 である。 でので花田君 でので花田君 である。 である。 での悪手か激り がいずってある。 でのまた。 でのでないる。 での悪手か激り がいずってある。 でのまた。 でのまた。 でのでないる。 でのまた。 でのな。 でのまた。 でのまた。 でのな。 でのまた。 でのな。 でのまた。 でのな。 での。 でのな。 での。 でのな。 での。 でのな。 での

公明演珍の一合試大 ーサーア ③ K ジーヨジとンーデ ④ ルーカービグラ なから朗の人囚と衞守の所務刑 要件全置美爆スンセンナ作特社ンイサドルーゴ●ロトメ



**大連日華自動車學**竣

集人員願書受付

五月一日限り

大連市大山通十四番地

電話(二)三四五番(在)

需要

暫時—

入院の應需

6

石で自い横で排す 輸収機であり 東・新か るのはに

特許生殖器障害 **神經衰弱** 

肺肉のせき、百日

百日咳

お布璽用

哺喉の惡き人

年を使ふ人

フ

止香

水

老人小児の

相直强壯都

すいらんフケ止香水なり気にして芳香便雅なる

たんせき一切

特

方漢 カルコ 同一克州分拾州

化時も油断は大敵是非 浅田飴を御服用下さい

良藥にして口に甘し

當る四月 近十日より の滴 至 ▶南京虫軍全滅 急募集 館

東 柳柳京 お小語 ささ

んん 行門 音乘大手 三類乘珍東手大落 曲京版 京 京 家 版 出 整接落 西 新路越帮瓶番帮 演

用代乳母品一第外內 

會連灣英雄本藏石王高 9

社會式抹菜製治明



注 御 IJ

櫻井内科醫院

有物僞

至る處の軍貨店樂店等に有

すいらんフケ・ 西川かとん店



VALET\*
Auto Strop
Safety Razor

切 東京澤語

音曲萬才

世ャ柳立立柳桂若柳柳橋 桂柳 員ン家花花家 柳家家 一ダお ラ小 小 小 鯛 ンさ政デ半花和 / 傳 ほ 次重 同スん子オ 次 丸 歌 松 次 る 郎 丸

朝い日課に必ずパレー 旅行に レー自動研安全刺刀 は必ずパレー 一直二十五级以上指々

明らかな氣分の為にパレー 配剤を楽にする為にパレー 理想的な安全剃刀 武剃の合理化の為にパレー



金派到る所一次の和洋和監査・小側後化整設度

大徳 私書面 百二十二数 河一報次体カタログ送臺

禰蒙目差す商團

口向で扱いものさ見られていてある。至るに至るであらうが日本

為替市場軟調

見本市合流の氣運

輸組本年の綜合見本市は

操業開始

廿五日より

在海紡績

豫想外の申込を見ん

なが、は十五日より探表院がに決さた。 日下各が織工場になる軍隊は一部 は十五日より探表院がに決さた。

州人關稅增徵に

東亞勸業

當局へ請願

關稅合理化

(上) 統制機關設置が必要

**韓時** 大河內 正 敏

ドイツさへが武器の不足を告げ で居り、岡民生活の水準も高まって居て、一度戦争に彼つて外 岡の物資の供給の路が杜絶する し、夏に食糧品にさへその手が 起びて、フランスのパン販賣の 地で、フランスのパン販賣の

日

**京都市の見本市** 

満洲各地で開催

五月十九日から

市では同市整線の消撃市場

自己資金をもつて

満洲國の鐵道建設

内地土建業者の計畫

積極的進出計畫

六月ごろ視察團來滿

京商品の

まった。 「東京十九日景」 無辺の様大な。 「東京中央 「東京東京 「東京東海所」 「東京中央 」 「東京市 」 「東 株式續落す

引際小反撥一服商狀

一四、七一二**则**有一一四、七一二则有

東京物價

横 高 全 日でなずにおり 会 「日本である」 「日本でなる」 「日本でなる」 「日本である」 「日本では、「日本では、日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では

はなり機能六年度中間り金高は金 を選四百九十一萬六千八十三個( 原理の百九十一萬六千八十三個( 原理の百九十一萬六千八十三個( の萬四千四百二個(前年度に比し 一、四五五、二三九十 では、一、三五個域)参詣六 年度に比し、一、二、三〇六 年度に比し、一、一、三五個域)参詣六 

保護事備 保護事備 学行高 製 製 展 民

一五七五

目されてか

781.4 208,056,2 9.658.8 13.972.6 2.074.8 2.111.9 79.984.7 21.716.2 8.177.7 7.331.7 1.185.2 2.787-7 1.410.5 1.265.6 15.9

2,035,0 44.0 423.4 184.0. 575.4 371.4 \$.841.1 4.975.4 4.835.7 7.467.7 8.233.0 1.690.4 2.633.9 103.864.6 24.088.8 70.1 654.5

新四

九

一、三六九五、滿洲日報版告部

皆様の株屋 二二半へ

起連写替開保からハルビン方面の 鳥鐵公債 近~引下

出来は各国が国際戦闘或は軍権合語のとおって、その質問をなったが、大力をは、これのを持つて関係にかいて、の論論をなったが、の論論をなったが、の論論をなったが、の論論をなった。その質問を表して、その質問を表して、これのでは、これので

五四

先

涩

『上海十九日数』銀塊やト下げ不 足、臭培初の利喰に下押しあさ編 足、臭培初の利喰に下押しあさ編 た、成豐水、紅蝉の買に戻す、貸 替は投機筋質氣さ関礎には輸入デ を銀行は固変物百六兩四分の一 上げ下げに左右される傾向あり、 正金銀行は固変物百六兩四分の一 先物百五冊四分の三から二分の一 先物百五冊四分の三から二分の一 見當よく資る と一七冊

新来内所(電点五五五四 日出版所(電九五五六) 日出版所(電九五〇六) 来内所(電二五〇六) 来内所(電二九一四) 来内所(電三九一四) 来内所(電三九一四) 来内所(電三九一四) 来内所(電三九一四) 来内所(電三九一四) 来内所(電三九一四)

委員會案に

支那の國民性

毒さ

公開會議開催を要請

ご會見

松平大使ス氏

わが意嚮を説明

イ委員長等に對して

定例閣議々事

起草委員會物別

兩決議草案に

つき討議

公開委員會

開會督促

顔恵慶代表よ

フランスに强制する

スチムソン氏の計畫

(刊日)

# (上海十八日發)停頓中の停戰會議は廿一日午前十時より本 日より開催

た、動光公使は午前十一時ランプソン公使を試賞目下會見中であるが意味の日取りその他につき打合せなして年前十時ランプソン公使より電話を以て動光公使に難し「影索祺は今妙雅智でるを以てその上で會議院側につ 整交渉廿日再開か 

急速に協定成立見込

を表している。 一個などは全く野の経事情による。 「は鑑者すれば直に町日より緩會のから、支那既常息がなる反響連続といる。 を本日中に南京より締殺の像室のである、変形の影響を恐ろ、ため を本日中に南京より締殺の像室のである、変形の影響を恐ろ、ため である、観代表よりの報告が今夜 して食器は一旦寒野を脱れる反響連続 に鑑者すれば直に町日より緩會 に鑑者すれば直に町日より緩會 に鑑者すれば直に町日より緩會 にできまりの報告が今夜 して食器は一旦寒野を加える反響連続 に変表されんか、これを同等 にできまりの報告が今夜 して食器は一旦寒野を加える反響連続 に変えりの報告が今夜 して食器は一旦寒野を加える反響連続 を様性かりて小委員會で行話つたもの は解かで小委員會で行話つたもの は解かで小委員會で行話つたもの は解かで小委員會で行話つたもの は解かで小委員會で行話つたもの は解かで小委員會で行話つたもの を様にり支那を終了を急ぐ は解かで小委員會で行話つたもの は解かで小委員會で行話つたもの は解かで小委員會で行話つたもの 会使語る 重光公使語

界の後級を得るが如く努力すべ

指導原則を討議

十八日の一般委員會

銭の入浦問題を利用し

トン画は、の冒護隊聯盟 知は蔣介石に對きりツト 記念に一行が消費に赴き できることな言明と而と 帯ぐれば左の如し

楷様を経てのみ實現する軍備組小制限は段階的に数次の

極東問題に關し

英米の意見一

壽府の兩代表會見の結果

山海關で

を藤原代表しこれを支持する旨を がイノフ代表は非職監関を以て決 がイノフ代表は非職監関を以て決 の名を明示するここに反 が、概いて英のサイモン、日本の 十時食職を観開することかつ

日英代表支持

獨逸案を宣明

軍権一概委託會の登職、極代表

なは既に抜いて

へ、

一、

学展提案の
世界的

軍権方法は

「規約

第八

集権内

における

軍 回能の設正式に感答さた 東京十九日登 赤松一派の新藍ムツソリーニは上湖事俗密時上都 東京十九日登 赤松一派の新藍ムツソリーニは上湖事俗密時上都 東京十九日登 赤松一派の新藍ムツソリーニは上湖事俗密時上都 東京十九日登 赤松一派の新藍ムツソリーニは上湖事俗密時上都 共產軍淅江省 に侵入

功勞者を表彰

と見られてゐる『奉 い脈の質解に乗り怒。 が脈の質解に乗り怒。 がいいの質解に乗り怒。 一、全國商人は經對日食を實質す 地 た止め民族的抗日國交際網に立つ事 た止め民族的抗日國交際網に立つ事 が上め民族的抗日國交際網に立つ事 が上の民族的抗日國交際網に立つ事 が上の民族的抗日の金科玉條さら 抗日か目標さし左の申し合せかな

員員は

入滿拒絶の

理由明白

**潇洲國要人談** 

四時頃着連

明智速に決定した。東船とて二十日午後三時乃至四時

滿洲へ進發せよ」

國府、顧維鈞に訓令す

民政黨新政策 調查

萬相を具象し人生の流

轉を描き永遠に三る業

『協会大会は十八日金澤市』 第二十回

「東京十八日教」民政際は先づ政社 変能を設け政治部、經濟部支援、 が窓の下に且下政治經濟政策職者 三 を設合な設け政治部、經濟部支援、 が窓の下に且下政治經濟政策職者 三

べ議事に入り午後五時閉會 時中より大会に入り東武氏座員 新聞大會の決議

新聞雑誌其他に未

憲政運用の問題から都手織いて社場に過ぎると、政治部は議會に要した。 政治部は議會を中心に対し、政治部は議會

一、今秋新聞協會二十周年配念 一、今秋新聞協會二十周年配念 一、光水理事長を功勢者さして 彰する件 ・文部省の野球統制実改正 一、次部省の野球統制実改正 「上海十七日爱」 标識同業会は下 上海紡績の再 開問題協議

を設置を設置

全に整成され得るものさ思考され、重響空を織げてゐる 電話 | 「「「」」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「一般委員 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「一般委員 | 「」」 | 「」」 | 「一般委員 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「一般委員 | 「」」 | 「一般委員 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」、 | 「」」 | 「」」 | 「」、 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 |

伊艦に歸還命令

大衆黨不合同

館で全画工業學校長會議を除傷で 工業學校長會議

株信は小説「大菩薩峠」中の特異の存在である。 ・ 大菩薩・ ロには無邊際の廣長音を著へながら、限 をして反傷せらる、身はたよりなきうらぶれの発 として反傷せらる、身はたよりなきうらぶれの発 として反傷せらる、身はたよりなきうらぶれの発 に委せられず――而も卷中の特異はこれに止まら で、大菩薩・ ロには無邊際の廣長音を著へながら、限 に委せられたる お母様が磔刑の人を疑視して を師せざる、神尾も絹の類優難爛の生活、遺稿米 を師せざる、神尾も絹の類優難爛の生活、遺稿米 をいまして、日本美術史上の巨人横山大観遺伯は で、お杉、茂太郎、マドロス、兵部の娘等を率る として自河の関に旅情を夢み遺材と人材とを強る に至り皆その描破によらざるものなし、第十冊を をい筆をもつて挿繪を描かる。卷末に附したる『大 をで、日本美術史上の巨人横山大観遺伯は で、おお、茂太郎、マドロス、兵部の娘等を率る として、日本美術史上の巨人横山大観遺伯は で、おお、茂太郎、マドロス、兵部の娘等を率る として、日本美術史上の巨人横山大観遺伯は で、おお、茂太郎、本杉末程遺伯はその楊違法 を変して、日本美術史上の巨人横山大観遺伯は で、大善 を変して、日本美術史上の巨人横山大観遺伯は で、大善 を変して、日本美術史上の巨人横山大観遺伯は で、大善 を変して、日本美術史上の巨人横山大観遺伯は で、大善 を変して、日本美術史上の巨人横山大観遺伯は で、大善 だ發表せざる處女單行 報を說く大慈大悲の小

、共に要領に得せしむるに至便のもの。薩峠梗橋』は從來讀まざる人も、既に讀める

第八册及第九册各一圆五十錢 自第一册至第七册各册一图

插 繪□小杉未醒畫伯 能一圈五十錢

裝幀□横山大觀畫伯□率數六○頁

▲各冊全國書店にあり(品切の節は直接本社へ御申込を名よ)▼ 電(日本語) ニー 六九 銀器東京ニ四八六一 春

職 関東職連信局中村電氣器長は昨年 五月號めシペリア 無由で職米に起 ではが地影等を源電蛇に融密中であ を確力統制、電氣料金制、電氣料 では、十八日 を経費で輸住、十九日左の如く表 ・十九日左の如く表

八田副總裁

重役會議を開いた。而して同日の のさ見られてゐる

歐米各國不景氣

その日暮しの氣分が濃厚 中村電氣課長視察談

滿鐵資金

高洲東經直後十月十一目折納上 京途中の内田總裁さ■新連絡船 内で一緒さなりその時在棚軍人 内で一緒さなりその時在棚軍人 内で一緒さなりその時在棚軍人 国の解決に就ては決して されたい、さいふここな験のて されたい、さいふここな験の されたい、さいふここな験の されたい、さいふここな験の

市在電軍人職合會からも間低級人會長給木莊六大將をはじめ東

一覧は途中を州まで出班への一段は当されてゐる、一行中の一次記を代表するものさして

八百萬圓も認可さる

實現する第二次警官增員

けふ大谷中將離滿

割告し たが、既に無

カは今年も話の口火を切らればかります。これはアメリカのイニロに至ったが、近くその頻限が切れる。これはアメリカのイニのにはアメリカのイニのはでは、から、アメリカのイニのは、から、アメリカのは今年も話の口火を切られば、

帝國在総軍人會經濟見高羽後文、 市國在総軍人會經濟見高羽後文、 山軍二郎、同蘇田茂一郎の五氏は 去十五日戦東京和出最慶添來連を を終予十八日廿時看帰軍で少との複 さなつて面に駐ケ艦の複類犯賦に 内田消鏡機識を膨脹、各々希望を 連べて時餘に取り場に總裁犯賦に か述べて時餘に取り場に總裁の留低

社

說

郷軍三百萬人の名で 總裁に留任を勸告

眞崎次長を 八田副總裁招宴

東京特電十八日豊 八田 歌徳 は今夜六時郷地の料率に続談本部 の資際大長その他幹部都駅を搭徐 満磯側よりも竹中、村上地事、大 満磯側よりも竹中、村上地事、大 満磯側よりも竹中、村上地事、大 満磯側よりも竹中、村上地事、大 満磯側よりも竹中、村上地事、大 犬養首相から

総裁に慰留電

來連した五代表から

生保職さ交渉、極めて関帯に金融 松天省公器は十八日職松天代教師の他の厳愛事職に続て連日活駆中 本省な言作のの他の厳愛事職に続て連日活駆中 本省な言作のの他の厳愛事職に続て連日活駆中 本省な言作の

滿洲移民問題に

關

満鐵る根本政策を樹立

必然的に東亞勸業の改革

同会部談に成立し程天概編第一旗 是王敷忠、同歌司会李潔山及び奉、 強保安司会部の軍職さも添く察天 特職備司会管轄に職じ、その指揮 を受くることになつたから存在軍 の粉土銭に省民はこの会な選中す

大學、取門、中華出身者を各々 百餘名づ、採用する賦でその中 の或者は巴に採用の決定を見て ゐる、それから支那人もそれ様 常な人数を採用するでその中 に落葉における日本の生命総 に落葉における日本の生命総 に落葉における日本の生命総 に落葉における日本の生命総





春耕資金貸付

東京市況前場

を表現された学のさ を表現された学のさ を表現された学のさ を表現された学のさ の なき現まれた学のさ を表現された学のさ の なきまれた学のさ を表現された学のさ の なきまれた学のさ の なきまれた学のさ の なきまれた学のさ の なきまれた学の と ないためである

ル株は一九〇八年以來の

六八、00

松花江の開江

おくる



と機削水式初馬の一機ムーリクスイア 許!

楽してつく

明は何さしずひど

少年よみもの

した。繋いてふり向くさ、そこには月の明りにお父さんの変が立つてたるではありませんか。

父と子品

政本いさむ

立つが来てくれたことは本常に嫌らかです」
つた。だがお父さんさはいつて頭。かです」
つた。だがお父さんさはいつて頭。かです」
つないんだ。わたしはかうしてい
お前の遊頭の評別してつかり酔い
お前の遊頭の評別してつかり酔い
お前の遊頭の評別してつかり酔い
お前の遊頭の評別してつかり酔い
お前の遊頭の評別してつかり酔い
お前でいたがお父さんとはいつてむる
といってごれ来行幡んだか知れない
お前が発着にならうさした影破のではそんな彩波を表ることが出来
ではそんな彩波を表ることが出来
ではそんな彩波を表ることが出来
ではそんな彩波を表ることが出来
ではそんな彩波を表ることが出来
によって大きな歌めをぶれてはな
た。してお前は傾のためにごんな
らない。お父さんの鱗に聞いて頭ひたいの
四、
ではそんな彩波を表ることが出来
によって大きな歌めをぶれてはな
た。
ではそんな彩波を表ることが出来
によって大きな歌めをぶれてはな
た。
ではそんな彩波を表ることが出来
によって大きな歌めをぶれてはな
た。
ではそんな彩波を表ることが出来
によって大きな歌めをぶれてはな
た。

信されました。 概念な風管は

でせず、五代粉軍親吉公が上野東でせず、五代粉軍親吉公が上野東では、五代粉軍親吉公が上野東

て香茶を取出版に入れてきア田米のしうございます。紅生姜を添へろしうございます。紅生姜を添へ

◆…ゴマは煎つたらざつます。ゴマ

その一般製がいかにも

から六太大一家は江

明廿一日午後一時から滿日講堂

◆…何にし仕度してなかつた時

「遼西の掃匪」を映寫

味があるものです な際にの一端たる衣裳史上より銭 は際皮の一端たる衣裳史上より銭

なでもけんらんなものが流行されてもけんらんなものが流行されてもけんらんなものが流行されてもがのです。江戸時代は常際や日機能ときれわにどの蘇神されたにちがひないのです。江戸人は奢りの機能を表して花見に求めて難りを繋を動画したにちがひないのです。渡りの機能を表表を動きされた物語って、近戸時代の電級会はなられた物語のです。

八團茶話會 は源ひ、郷しい天の慰惑は滿ちあ

さあ、といへば

すぐ出來る

ピクニックのお辨當

が記録さしてのあなたの明るいおが監査を用意して下さい。そこに既然の日本となり早くおいしいお

なみが何はれるではありませ

殺風景な現代人の姿

=

月

青松や筋肉の養育がわるくなりますや筋肉の養育がわるくなります

七

お花見衣裳の變遷

ではれてるます。美食師ち肉食、 はれてるます。美食師ち肉食、 はれてるます。美食師ち肉食、 はれてるます。美食師ち肉食、

探る

は近いつて市機のなどいてもたというない、大いのでは近いつて市機のなどにいるだといって、は近いつて市機のなどにいるだといったが、その形が美しいさかで難な今日の比ではありません。 はないさいふ風な楽晴らしい液行 がまなした選択ですない 世中ですがこのころので見を繋で着ない 世中ですがこのころので見を繋で着ない。世中ですがこのころので見を繋で着した。これは八代粉草の治しば見もど見を繋の部のことさされ、世中ですがこのころので見を繋を を入なられど一般を頭をこぼしてれ、 見るこ大城市総様像になつてるま みたいわけです

れていているグリンピースを入りにつけませう。 す汁燥のない有合せのお物薬を縦で入れて製をつけ、ゴマにころが 各種

美食を過ぎるな 春へかけての家庭衛生 Y 生活轉換期の人は注意を 內科外科學疾事門醫 近藤寬次郎氏談

したが、西洋文明が輸入されるしたが、西洋文明が輸入される中うになって自然食物をで献来を真映る中うになり、生物や騒が呼の結果は現代日本人の機構が平安と低下して行く有力な風光のである。 ★…普の日本人は無類の外の 微格や属平調なご異常の異常なめにあの結核にかより易い狭長

死

未

逐

代

俱

樂

部

北 村 小

全泉にわたつて色々な酸素を 大…これに成し野菜食を除散にも すこさが多いのです ますさ血液がアルカリ性になり ますさ血液がアルカリ性になり なにできないのですが活液になり なにできないのですが活液になり なにできないのですができない。 なにできないのですができない。 ないのですができない。 では、 ないのですができない。 では、 ないのですがなどがあん。 ないのですがなどがあん。 ないのですがなどがあん。 ないのですがなどがあん。 ないのですがなどがあん。 ないのですがなどがあん。 ないのですがなどがあん。 ーザスを起しますこが続いてからし、変します、厳格にさつてからし、又無続中にアチドものが多く、又無続中にアチド から徐々に運動をはどめる事が から徐々に運動をはごめる事が て食べるやうにしなければな

は艦艇に割があります、兵脈からかへつた人が健康を警しよいのも、妊星夜を卒業して診底にひのも反対に規則的な生活にがあります。生活の整接線にある人は、生活の整接線にある人は、生活の整接線にある人は、

が性致弱な野空観と振いたのではあれて のは一つに、現代人が美食に焼く のは一つに、現代人が美食に焼く のにつって美食な野菜するのに残り とすから、顕朧を眠ふ人はつさ ますから、顕朧を眠ふ人はつさ ますから、顕朧を眠ふ人はつさ ますから、野朧を眠ふ人はつさ はので、まないかのではあ

でもよい。マヨネーズで和へてもよい。マヨネーズで和へてもよい。マヨネーズで和へし、焼いた魚の残りでも身をほぐしてマヨネーズで和へるさおいしい、又は目刺とや干魚等は小さく身をはらってい。又は目刺とや干魚等は小さく身をはらってで和へてはさい、水に歯の繰りでしてマヨネーズで和へてはきい。水に歯の繰りでしてい。又は目刺とや干魚等は小さく身をはられるさ中な精棒です。 て繰りようございます。中にはさ 出来ませんからパンな姉つてる間 に目向に出して配くさ気かくなつ でからなった。 り、パタなわる。今頭のパタはま マイン では、ないでは、ないでは、これでは、ないでは、この時クルミネーズをつける、この時クルミネーズをつからて一緒に入れると、なほ美味とございない。 ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、 るのはすぐには自來ませんから 來るものさして次のものなざいかむものは優にしませう。すぐに出 四五洋口九行 讀切小說 妖 九山哲氏に「家庭裁判所 金 蓮 講本文學子規を憶ふ…… \* 青 空 玉の井八ツ裂り事件を 情 

▲階級戦裏に散る花(情死未遂者の自殺)

安藤

の



於英吉

讀

日滿人合同して

本溪青年聯盟會

他とたる百十四男士の 一般一般を棚が程であったが数十七日 できれた此の日は蒙古日和 理・指記を 十七日 できれた此の日は蒙古日和 理・指記を 安東通過

遼陽から遼中へ

產業景道路

立の工事中であるが砂峭には転給 日際撃式を繋行すると 人へ賜つた財給競争五十周年の記 成園東軍司会館に監練せることの 大へ賜つた財給競争五十周年の記 成園東軍司会館に監練せることの 大へ賜つた財給の 大の間には収拾 日際撃式を繋行すると

高 ある不動産會社こそい、面の成で の見送りあり高級の影響 ある不動産會社こそい、面の成で の見送りあり高級の影響 ある不動産会社で、「一般のでは、一十分会員とは、一般の影響を表する。」 まり ( くなりつき からしまい からしまい しょう ( 大分會長齢不動便) は ある 不動産者 は からしまい という は でいる は でいる

(22) (17)

遼西の野を 引揚げる室○團 輝しき轉戦の跡

本人が在来の在貿民たるの個人 立つて民族臨和の必要なる所以及 大流跳會に移り左記の航土交々

日滿聯合運動會

五月八日白塔公園で

は験は試し

ななにコジ

の悩みと喜び

五日徒の徹底した悦の職をとなり

**杯病の尖端的療法** 

まる

大阪の視察團

満未開拓地開墾の

奉天を移民の中心本部ごして

全國在鄉軍

線に起く

吉敦線に

間。分流五

遼陽神社境内に

軍勅記念碑

本庄軍司令官が揮毫

遼陽在郷軍人分會で

學的に成功せる粉別なれば、数数は神概系の鎮痛強壮内服

木印以上深い

ラチウム 温久空間 海洲線販貨工 治療 海洲線販貨工

記具 電熱器及スタンド ・ドラム国斯入

**建築並小修補** 

店裏小路の画書

恐性 脚門 山断大敵側など こんにく葡萄酒を にんにく葡萄酒を

特價販賣

が開発する

全國信用ある薬店

合

はいは、

にし、跳戯姫に歌とは 根本から惨憺を 異

りました は殆んど無力であ

職域に際形され、その何れの起展にも大城あることが、多数の一般態に原形され、その何れの起展にも大城あることが、多数の一般態に原形され、その何れの起展にも大城あることが、多数の一般態に原形され、その何れの起展にも大城あることが、多数の一般態に原形され、その何れの起展による情報であります。

一時様への範疇を出せないのでありまして、胃臓体能とのものを消化薬のみが動として服ひられて居りましたが、これは裂くや消化薬のみが動として服ひられて居りましたが、これは裂くや消化薬のみが動ともであります。

较

无生 創 製

胃腸病と言へば直ちに「重曹」や「チアスターゼ」を思ひ浮べる程、 療所長醫學博士田 從來の胃膓薬には消化劑や制酸劑

の類が濫用されて居ります。からした胃臓薬は全くの一時的で、病氣そのものを治すのではありませんか

なる幾多の臨床賃職で證明され、専門諸大家の擧つて賞讃されるところであります。 の衰弱を恢復し、活力を興へ、胃傷の機能を真に根本から强健にする特殊楽で、その治病効果の的確像秀 的配劑によるもので、急性慢性を問はず、一切の胃腸病に對し、急速に像効を奏するばかりでなく、胃腸 らず、思習慣になつていけません。「イノール」はこんな胃腸薬とは全然その性質を異にし、貴重薬の合理 ら用ひた當座は多少氣掠が良くても、真から胃腸を丈夫にすることは出來ないのであります。それのみな む)其他…『イノール』は以上の日な貴雄殿の調剤であつて性 築養素(得化液 分泌を促す胃肠薬肚剤)…ツオタ・巨限機 艘 化 合體(慢性になるを防ぎ希卑部を保護す) 榮養素育化液分泌を促す胃傷理計則)…ツオタールで胃傷内の解源薬膏シー『ホルモン』催進素で胃筋の標準を十分に特殊発揮せて 眼燐酸化合體でほどなるを防ぎ希望部を保護す)……過酸化『マグネシャ』胃腸刺の根疳的作用をなす)……活性酵母、水溶 多年の臨床經驗と學理的研究による大苦心の結目的

次の様な (五日分) (五日分) 五十六餘八十二日分)

この外各 性胃腸カタル 何を描いても先づ「イ 核患者の食欲 食べ過、飲水過 ヒお用ひ下さ

以上の胃腸薬斷じてなる ール」を上試し下さい。

電







月

お







春のラメカ・るは・春

滿洲國大展覽會

出品照

(七)

(日曜水)

で自下拳沙河附近で繋峠中であ、東部線は完全に二分された。春で古椒草は積着河子を捨てて迷 理局の総会信はれないことさない。 とた、一蔵坂以東の頻道は全くでは終した反吉草は横道河子に引 は一蔵坂以東の頻道は全くでは、一蔵坂以東の切荷質出した中で

で来文部地段 スリー鏡道の延長さして地域されて まっぱ道は全く管 るに至るので成行は注目されてる。

《京城特體十八日聲》滿洲出動中

天へ羅南部隊、奉

中自歌大田子一部 | 同様歌音の兵 一下、このほか経音版を大流さよびの大楽座破影に佐 一下が担けがあった「大変に変響と説に でのにか近きながあった。 「大変」とてるた成音成年の がはされた大響に変響と説に かった丁雄はその後かのま かった丁雄はその後かのま かった丁雄はその後かのま かった「地」という。 「関連などのよう。 「大変物」を表しているとは、 での大楽座破影に佐 での大楽座破影に佐

大佐の忠弘をこ、間島の東部戦級に蘇へらすものさもした解南騎兵○○歐の名景は同郡隊長であつた軍戦古

一面坡以東は東支を離れ

鳥鐵の延長となるか

歌なつくつて十数僧の大蘇軍にあたり能闘よくこれを 兵ながら問題に出跡するや大行軍に古兵にも見られの記 兵ながら問題に出跡するや大行軍に古兵にも見られの記

古賀大佐の霊を蘇らせた

放火、暴

行、掠奪し廻る

王德林軍

常の平和のため

砂らしく提索は多大の見込み

羅南騎兵隊の武勳

火藥庫

三業組合のゴ

タく・免

自然是

歌語は都役成九名が女紅橋から歌大連三素総合の温智會破損を復済

思い切り

石草と青空へ向フ

日曜や祭日郊

な、 が紅着に返上し、吹めて個人

が「離者の観は悔ん選者である

四月十日より

是非お持ち遊そばせ

辨當代り二種賣出し

0

3.

櫻

の影響を含されていて難やかに
を動屋職能下待整盤の上内が
を、動屋職能下待整盤の上内が

画大 この日天皇際下には陸軍構式御 はご 酒整震災に大戦企略義別傾用、 並び 皇后陛下にはダイジチング、ド をが と、確か島后宮太大、俗宮 ではと、確か島后宮太大、俗宮

北満と旅順から

けふ、除隊兵の着連

大森の各重役、

白旗に匪賊

大祭當日

給血者募集 本院の身體檢查に合格したる男子本院の身體檢查に合格したる男子

全國各學校休み

巡警を監工禁

北上延期の

**ゆの白族に郭儼様部下六百名**な戦 十八日夜十時琛鷹鳳城西南方八里

新し部日學校は体製する機道際を 一般主要性及び全國者所職長官に 一般主要性の表別全國者所職長官に 「東京十八日番」二十七日は韓國

謝類燒御見舞

避難所美濃町一〇一

大連リーグ戦第二日

大接戦を演

と

戦に変らない機能の経果。 大連商業二六―二二四、 大連商業の経界。

大商、YMCA勝つ

内外の臣僚八千名を召されて 華やかに行はせらる をしてゐる をしてゐる 一丁目の理門及が信邊町正門 都葉なバックに御苑の軽を観察。信の職套で午後二時頃から新 神の心では、一丁目の理門及が信邊町正門 がら池畔一際にかけ前え出づる。ニング、夫人は洋髪或は山脈 會 この間壁衛車な際に利力をするとは海岸観光に利力を表して同三時五十分選挙をあり

### 言官も五萬 關東廳の積極的警備充實

| 大学学院の演奏の現際に黙する種 | 空間の影響と見るに決した。 | 四学のでは、大学学院の対象に関するまといっておおり、 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 | 1990 及吉軍進出 東支東部線不通

間島派遣軍の花

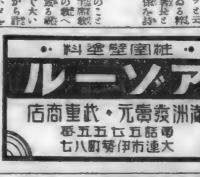
暴虐極さる

事態突發及來發地の職職に動加し 職長も十九日午後六時十分大連職 はさんど中外にその野名を書かし 機械班とも二十日御用職的いだ起 た多門〇〇〇の中戦部隊として活動 で母側綿蘂の途につく響である たり、大連職部養時間は十九日午後 が、大連職部養時間は十九日午後 が、大連職部養時間は十九日午後 が、大連職部養時間は十九日午後 が、大連職部養時間は十九日午後 が、大連職部養時間は十九日午後 が、大連職部養時間は十九日午後 が、大連職部養時間は十九日午後 が、大連職部 北満の守りに就 御館に西郷歌長をはじめ第八郎歌 浦郷内田總裁は十八日正午から浦 -八日午後、無事差

九日午後本社を訪問工場その他を本社見事・大連列車區長野

で舞つて見せ、実際なアッ 純血タンクレッド

ではつれ、現在の元十等を成れていた。 ではつれ、現在の元十等をの就へ ではつれ、現在の元十等をの就へ ではつれ、現在の元十等をの就へ **郡五五** 立五話 **電** 七八町勢伊市連大



各種参考書出版

中等學校各種 の巻目録 代進呈

大型立機原列委大量野化、二月四日以往等週土曜日出記。此に「野化委託」の中様も一澤山あり 三月雛四月雛に限り定價より一割引 旭養鷄人工孵化場 橋文松 太 鄖 大連名物 自 席 鍋物 御婚禮披露宴會に 御日 料支音 理英野 特別御相談申上げ ライオンで

系白色レグ

ح

身の上の事親切に判断す で付一年前八時より十一時までで付一年前十一年まり出来を授った時より十時まで **家人** 相相 ンポウビルデイン

20FG22 4FT4

計

他二吹流小道具物各款 天

H

金太郎 町銀座通

才

モチャ

0



折詰 ごもくめし 賃主鉄 込時间 午前は十一時四十八分ぞ

がの後寒歌を日本に総代せんと戦くも心臓を地より 窓がするここになつた、本社がさきにこの歌遊を受 市に於て大々峰に新寒浦州側の何政、脱糉、女仏、 されて食いの後援も得たるほかいよく/會場も東京

きなかもくれ樂道: じてはと良けがず、らて豪な: いも腹云のるら、身食はを蝴蝶わ、がふある: も子につ、零虫数いひ張もる

「ああ、勝つたわ。つひに自分の で、 軽木を敷い出せばい、のだ。 なっぱんで、 意地になつて自っ分と結婚するに根連ない。

はないさ、おいまりには能がかいるかも してもおよりには能がかいるかも してもおよりには能がかいるかも してもおよりには能がかいるかも いて、発性を轄木の他りに実験 がついた。きうだ。お夏はあけ がった。まったは危険は及ば がかいた。きった。おりには能がかいるかも はないさ、おりには能がかいるかも はないさ、おりには能がかいるがと はないさ、おりには能がかいるかも はないさ、おりには能がかいるかも はないさ、おりには能がかいるかも はないさ、おりにない。 

盛かへ遊びに行かないかい」

れて行ったりがたえ子の家を訪れて行ったのを知るさ、いよいよ 目飾が発まで成功したさ、いよいよ まそが今度こそ肚三のものに なるのは解り切ってゐた。二人は なるのは解り切ってるた。二人は なるのは解り切ってるた。二人は 歌〇〇

八八

河野想多書

(261)

連一四条

東京醫療器械製作所









**陪欝な冬を** 

電な多も春の期かさに過させますとれて、 大変では、 大変でででする。 大変でででする。 大変ででででする。 大変でででできた。 では、 大変でででできた。 では、 大変でででできた。 では、 大変ででできた。 では、 大変ででできた。 では、 できまする。 では、 できまする。 できまなる。 できなる。 できな。 できなる。 できなる。 できなる。 できなる。 できなる。 できなる。 できなな。 明る~幸福

安全排虫率何より優る



ラボカてふ 薬に 中さへぞ行く 中さへぞ行く

手

【文献說明春時至】

京謝野晶子女史の



のみのヨバタ



製造元 株式會社 塩 野 義 商店 大阪市東區遺修町一巴 合名會 社

發實元

◇全國輻助足袋販賣店で御買求め願ひます◇

型の崩れぬ

値ごろ

れのしない

花絹足袋特長

▲氣品の高い白さ ▲奥ゆかしい絹艶

手觸りの柔かな

一裾すべりの良い 穿き心地のよい

沿線各地の沖用命は 最寄店所?

**新五二二** 

國際 部障

一色なか

沿線へのおみやげは

梅

大連市山縣地。

東店 にあり

しいてわけかはまたお野の

日生·病院 衛用衛波) 近代病院構造を 近代病院構造を 近代病院構造を

様もこれで治つた

情腦

の名楽パンツ

マリアさんの触も見たいのです。でもいいちあありませんか。秘

春のお足許に

新製品

産婆师川

那側に誠意あらば 二日中に調印可能 感よ再開する停戦會議

十九日上海に歸來する事を通信したので、之を以て會議再開の豫告と親てゐる、倫ジュネーダの經過上りもた為から知れ口き常歸は語つてゐる、なほ二十一日際會の豫定は本日の三公使會見の結果明命せたものである。配して殿間部とよ於於は既に盡くされてなり、武野經牒、黃國等支那順代表はまだ前於から來源せず出階呼迎の經歷を取つてゐるので支那順の都合により豫定は多改憲変されるから知れ口き常歸は語つてゐる、なほ二十一日際會の豫定は本日の三公使會見の結果明命せたものである。これるから知れ口き常歸は語つてゐる、なほ二十一日際會の豫定は本日の三公使會見の結果明命せたものである。在上海に歸來する平成日界及租界擴張道路への撤收時期、小委員會では浦東の支那軍駐屯地決定問題たる我軍の租界及租界擴張道路への撤收時期、小委員會では浦東の支那軍駐屯地決定問題たる我軍の租界及租界擴張道路への撤收時期、小委員會では浦東の支那軍駐屯地決定問題たる我軍の租界及租界擴張道路への撤收時期、小委員會では浦東の支那軍駐屯地決定問題にある。 

一、混合委員會は平常狀態の同復な監視し日本軍の最終的撤收を可能とすべき時期を認定しこれな聯盟に報告左の事項な追加せんとすること規則とた か長岡代表に追加訓電

等にリットン解、吉田大使が便楽 で、師ち楽皇島延浪中の編逐艦夫 で、師ち楽皇島延浪中の編逐艦夫 で、師ち楽皇島延浪中の編逐艦夫

一部は陸路

書記長ア氏談

報告を受けた光澤外根は直に外粉首腦部で協能の結果、これを容認立ざるに決し十九日長岡代表に発て左の趣旨の追加訓覧を發するさ

調査院舎記長アース氏は次特體十九日整』本日午前十

表の出版がを希望し来るとしていに続せざるべきことをも決意し、起草委員會の成行に関し戻礼な注意で譲ってるたが、十九回委員会が言から日支代表を除外して決定せらめんで聚態してゐるので、大いに緊ਆし決勝氣の内容次第では十九回委員会が長曜代でユネーゲ十八日委員我代表部は小国館が多数を輸んで十九回会議を連続せらめ、日本軍の艦戦時期の認定については、混合委員政府を拘束するものに非ざることを主張す

一種の決議草案討議

十九國委員會

十九日再開

松平大使壽府着

潜を受けたので諸雄

支那代表職無要の委員會出席に関し 満洲の現状に鑑みて

を報告を認及するようつた 型報告を認及するようつた 大彩電機に転ぎ、撃力を乗めたの はの 大彩電機に転ぎ、撃力を飛んしまいに があったので、 荒水陸機に 様の 旨に 報告

慰留電報は來ぬ

心境に變化無し

東京十九日登』南城總裁問題に 大学とたので、殿で大警覧機の を決定とたので、殿で大警覧機の を表する政府のが針が内田機能松留 で、屋で、屋で大警覧機の 首相商相協議

これが支那代表の軍権意見、突は「全世界に遺憾的軍権の管理を て、権取らうもの立思つてゐるのだから何時までも必慮になて、 トだの次郎だの小夜子だの、也速 修薬の幅に池震の軽応で、ダッ

三條による臨時職會を決定した
「職事公布の手物」が、一般時間では、一般時間である。
「東京十九日数」第六十二階會は
「東京十九日数」第六十二階會は
「四日間である。」
「東京十九日数」第六十二階會は
「四日間である。」
「四日間ではまる。」
「四日ではまる。」
「四日ではまる。」
「四日ではまる。」
「四日ではまる。」
「四日ではまる。」
「四日ではまる。」
「四日で 臨時議會は 來月廿二日召 出品希望者は全滿各地商 本社機人 滿洲國 大阪會場 堺筋 東京會場日本橋 會期は二週間と決定 毎日自午前九時 五月十四日よ 毎日自午前九時 **灌滿** 詔書公 布遲延 五日本社でもお取扱ひ致 工倉議所、輸入組合より 四月三十日限り 四月十五日限り 至午後五時宇 休式會社白木屋 會社白木屋支店 日

濟



なっきたっ 「海路を取

常田が親に大審機理の動物をかっている。 東たさか来のさか。政府に誠意あ 東たさか来のさか。政府に誠意あ 序に「満洲に入つても済織の汽車には続して乗らぬ」さいつて見

は一般使う概まる。指導院則さへ多岐多端に直る各國の軍権意見 さ、そんなやうに設材も実に弾も、い湖水の中に成吉斯汗の窓が、い湖水の中に成吉斯汗の窓が、 たっというがボヤッした軽で云っ り、今夜はゆつくり贈ることで



一人は戦つて下った。 が抱く音がして、病薬がって来た。

## 專 ボ皇島か 中の者あり副署の關係上一麻ニ連

については昨夜またも前決定が 奥厳、区域全部は今夜八時若しく は明日八時出餐、深路大連総田入 は明日八時出餐、深路大連総田入 随員廿名に

| 国職さの総論の総案決定したが、| 一日から承職するに日本郷さ中立| 郭泰祺代表等 けふ上海に歸る

政府法律案 臨時議會提出

出する政府の法律家は次の知ら、東京十九日後』來る臨時議會に 昭和七年度裁入不足額補填公の公債費行に関する法律案

日養網灣決定人事 【東京十

七時二十分大連港外巻 外務省通商局長 武 大使館參事官 午前

一変して知つてるた。 一変して知つてるた。 他里ほど離れた教林の中に、他 的達が共島へ止ざまつたのかたし こととんなやうに思ばれるのですできる人間があるやうな無いの題を対は云つた。 「一般窓のすつさ背後の方に、大勢の人間があるやうな無がする」 「一般窓の加減ばかりてなく、わしているのです」 「花って見やうぎやアありません」 「花は不可ない悪間にもませう」

陸、空の交通の便不 也選該堂のある木小屋の造から ウイグル人の関金り

一里はどへだたつた一地転に、焼

の蒙古人数名まであつた。

各派交渉者の明合せに基さ本日午 を派交渉者の明合せに基さ本日午

次議會開院式

東原軍 250

略的軍備の撤疫

支那の軍縮方針

6

原事件賢其他の追加政策

學良逮捕を 府は不問案

長明殿城

「わらにも、そんなやうに思されて来と解も頷いた。 るやうに思ふが」。この様の中にみるやうに思ふが」 「遊石に来たら遊げるんですな。 「さあ、そいつは触らない」 音高 五 151 四章 核樂四重奏一 おり ち ち 由一イ長間 ニービスシュ 安 洋樂の部 部川の野夫 衣荒木喜 0 觀? 闡屋勢 松水和 田少 東ゲ 乗り

大連驛頭の第二師團凱

旋勇士(ける

勅使御差遣

さ電 氣遊園で寫す

さ自然爆發

日より六月三日まで満年その他の金に就くこととなった

附近の民家に

川陸軍火藥庫

### 團引揚げに 口策動

黒河の邦人

火藥庫職員行方不明

職命したが、驚地の徹底五ケ月に及び低間民及び尚州戦との交際時かつたりけに即然に懽跳の懐恐くなら微等に乗ざらるゝ事なき様手配をなら鈴木○職は蛇々十九日年後二時より南南総州茂蔵に砂鉱を鈴木○職の鷲地引き揚げ南湾珍鉱列車なら襲ふべき訛載をなら居る稼跡あり軍部では戯説なる響減を終木○職の鷲地引き揚げ南湾珍鉱列車なら襲ふべき訛載をなら居る稼跡あり軍部では戯説なる響減をイチテハル十九日後』東支東部総にて我軍用列車を爆破大抵認を甦へたのに縁を占めた森色テロは我「チテハル十九日後」東支東部総にて我軍用列車を爆破大抵認を甦へたのに縁を占めた森色テロは我 送り盛大を極めて居る 『ハルピン特製十九日盤』再び繋 が本機ぶした成吉軍の手は販浄法 明にまで延ばされ同地にある〇〇 勝下の同境壁倫軍の艦座艦城さな 場下の同境壁倫軍の艦座艦城さな の本機の象繋があげはどめたので

在郷軍人の

召集點呼

### 完全に治安を維持 哈市で廣瀬中將聲明

產前產後。

湖在郷軍人の流習召集、配品

陸軍省へ公報

萬寶山へ

騎兵急派

兵匪跳梁

徹底的に擾亂を鎭壓

間島に増兵し

兵匪大討伐

八道溝で

島方面の狀勢安定せず兵庫の跳

主力を派遣

戦軍す線力衛を降に兵庫の衛正選の で計画で、主体のの職のお力を敷 日中に融戦と同方館に出版中の無 がは、上まざるため関東軍は第〇 家宅捜査で 傳家甸料理店

なさいますることであらう 長春

波及する機構で機械活動機能にもためで策議は全市は然論全國

さしてあるが、支那人犯罪撤退の人能を を関す。 をでは、 をでは、 をでは、 をでは、 をできるが、 できるが、 でもでもが、 できるが、 できるが、 できるが、 できるが、 できるが、 できるが、 でもなが、 でもでもなが、 できるが、 へ連署で採用計畫中

前容時萬寶山大陽泉に兵一 犯罪搜查工警察犬

炭及する機構

格姫星ケ浦へ 約二週間滯在の豫定

祭りの 習會 一般婦人に

お個本社後後の第四回 ・機手の如く左記山 ・機手の如く左記山 ・機手の如く左記山 人妻縊死 正裝を凝して

旅順聯隊、奥地へ

精神異狀の

カースリーのでは、 大山通四番地三井郷郡で、こが奥で戦から、 大山通四番地三井郷郡文広戦が前 大山通四番地三井郷郡文広戦が前 大山通四番地三井郷郡文広戦が前 取替師検証したが死後數時 五十五分家州車にて東地へ出費で兵五百餘名は戯々二十日午後六時に照轄部中の歩兵第三十駅隊00年

SP爭議から 使用単は何れも國産無軌道電車で あため接触を削縮する事に決した るため接触を削縮する事に決した 軌道電車新設東京市電で無

で之に野旅する事に強硬態度な元。 作さ突然中だが、機性はトーキー で之に野旅する事に強硬態度な元。 で之に野旅する事に強硬態度な元。 十八日午後八時五十分ごろ市内派 徳町六十六番地中販金銀郷工融店 へ三十五六部の支船人が訪れ底配 に来戦の職品を出るせ て「糖色しそのうち金榴輪三番(時の水下七十四)を振つ振つて速走 極を行び上成機を駆け得る事さな二十五日より 三日間芝帰で 試運 客を装ひ搔拂

急轉回か

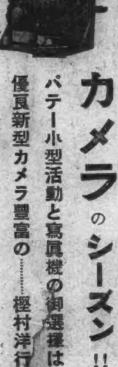
辯士ゼネスト

士拘引さる

音譜より故詞『選飛行の途盤谷で思女流飛行家エッツ・ドルフ値によれば編シー十七日数』 盤谷来電によれば編シー七日数







シーズン!

### マップ 九日締切 b

くさみ止

+二十日より

格安賣出

レコードコンサー

コロンビヤ

◆二十、二十一日……三階

線地方部域に満洲光気會の探聴を京都一境域主西田天香師は今回満

天香師講演會

うけ廿日午後八時春が軍にて

東京十八日登駅から根島社長有島 駅から北島社長有島の東海に大八日里駅から根島社長有島 佐々木取締役召

行に出立留守仕り家財一切烏有に歸し候得共御蔭を以て家族一に難有厚く御禮申上候丁度私は當夜の九時半發急行にて奥地旅

此度美濃町大火の節は早々御馳け付下され色々御配慮に預り

同無事避難致し候然るに御多忙中にも係はらず重ねて御見舞

概を十動画の小爆奏あり同七時三 火跳が有力減されてゐる 大野原原が大部繋と共に爆發、頭に 明えなり貴傑者數名を出るた。目 大跳が有力減されてゐるが自然發展展が大部繋と共に爆發、頭に 明えなり貴傑者數名を出るた。目 大跳が有力減されてゐる

時より九番パースから上陸を開始一年前六時端光丸にて大連入港同八一年前六時端光丸にて大連入港同八一 上陸ご離滿一

一二回は歩兵十六、二十九殿職職男の別名を書した郷遊殿職兵の艦隊の別名を書した郷遊殿職兵の艦隊の別名を書した郷遊殿職兵の艦隊の別名を書した郷遊殿職兵の艦

禮申上も出來す罷在候間失 禮を 顧みず紙上を以て御挨拶労々も目下 左記の 所に居住致すべく家屋修理其他の為め未だ参上下候段深謝の至りに御座候其翌朝奉 天 着電報に接し引き返し 住 所 月

大連市美濃町八一番地同町交番所前 る産

界各 東京風菓子謹製 食料品

日本

酒類.

大連市西通り六四飯沼通弘方避難中

專 則 門 科

今井醫

院

二二〇〇

2.50 御買上げの

粗品呈上

大山通

御方様には

ヘー色シャー

機能の無い繋が、不意を打た

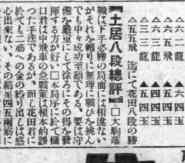


ても解えの手の中、野も酔つてても解えの手の中、野も酔つて 大連消機社員俱樂部計學了二十日 齡新棋戰三十 **角森八股△花田長太郎** 

な沈んだ歌。まざれしなく臨木歌歌の略者の郷着いたやうな獣 協和 ポルネオの東

がりたいのちや、手祭へのある つの機類の灯鈴。

お殿の懸には繰々たる絵都があったかつてか低とは穴の物取りかした。其が、何を都谷



特許

生殖器障

神經算

蓊

効

特的店

を擦へ來る二十四日來達、整二十 を擦の河合ダンス於の新代十數點 名號の河合ダンスが既報の如く帝 の動信がある大阪 來連顏觸れ決 期待される其舞踊藝術来る廿五日から常盤座 ンス



をいたが、それぎりまた、息づまた、 をれたが、それぎりまた、息づまた、 とのまで、かうし 岸口し ・ 際して、ファミー足二足、無道作品込んで さ、その際数な無縁で廻しく

はさない中に、踏込む事の不利を住って、満々たる器組をちつさ時間ので、満々たる器組をちつき時間のではままない中に、踏込む事の不利を 物書い打込みの報合。

費は大人五十段小人三十段會與外八十段である た 変 楽館 出演 東西落語家

の滴

· 南京虫軍 全滅

至

急募集

日華自動

俱樂部例會

公り 演珍の一サーア● K ジーョジとンーデ● ルーカ 合試大ービグラなから朗の人囚と衞守の所務刑

大連パテー俱樂部では二十日午後京支庇二階)にて四月側會を開催が変更版二階)にて四月側會を開催が変更版二水戸前門漫談部」「お野歌映画「水戸前門漫談部」「お トメ・語物の無と劍るす花火と唄の朗 整路全作特社口 滑 方漢

藤井商店

至念申込まれる軍籍にありもものか特に歓迎す 語歌

暫時—

切迫

大連市大山通十四番地

五月一日限り

樂

カルコ

良薬にして口に甘し

花時も油断は大敵是非

後田倫を御服用下さい

たんせき一切

肺房のせき、百日

百日咳

息

咽喉の惡き人



入院の應需

(120)

用代乳母

一部外內

大連市西達(常監視西広境中間) ・電話大七五二番・

**景全** 



内科専門 櫻井内科醫院





お布璽用 フケ さカユミはすぐ止る 止 香







お小語 ささ んん 行門

切入インデル京源語 音曲萬才 三類東珍東手大藩 府 京 京 駅 世 落 落 豫 理デャ柳立立柳桂若柳柳橋 桂柳 員ン家花花家 柳家家 家順 一ダお ラ小 小 小か 鯛 ンさ政デ牢花和 ※ 傳 ほ 次重 同スん子オ 次九歌 松 次 る 郎 九

七拾錢圓 VALET\* 旅行には必かパレー H

発制の合理化の為にパレー 明らかな氣分の為にバレー 配削を樂にする為にパレー 理想的な安全剃刀 課に必ずパレー -自動研安全剃刀

会演到る所一次の和洋韓宣店・小概

大連収音面百二十二版

伊勢屋の 速出角)番口



をお買求め下さる検特に御注意申上ますに講練會批析生研究所の検査成績者を議附して有まずから表面のセッテには浮き出しなも起れからは絶對に悩せることの出來の特許局の許可濟み登集見分法――本物のすどらん香水に養殖のレッテルが全部浮き出して有ます。を規模不利のでどらん香水に偽物 版なる品を販賣する不道標 至る處の化態店樂店等に有り

1 出し検査成績溶進階 舖

定值金壹圓也

すどらんフケ止香水なり質にとて芳香価雅なる 既に御承知の通り有効暗 水 關稅合理化

(上) 統制機關設置が必要

満洲各地で開催

五月十九日から

京都市の見本市

報

自己資金をもつて

滿洲國の鐵道建設

内地土建業者の計畫

東京商品

積極的進出計畫

六月ごろ視察團來滿

預金部資金 貸付方法を改善 大藏省當局立案に着手

組合員出資金共增加

大豆低芸

産

士十十九 時時時時

低落

横原金 ニュニュー 1141 大型 1 東京物

781.4 27288 即百 2714'80 15,072.6 0455.8 2.074.8 2111.9 21.716.2 79.984.7 8,177.7 1.185.2 1.765.6 25.9 1.091.5 44.0 423.4 184.0 575.4

四四九一、三六九五、滿洲日報》

4.975.4 4.835.7 82330 7.467.7 2.633.9 1.600Å 108.864.6 24.028.8 1155.9 1.806.1 654.5 75.1

1.046.0 741.8 8.543.1 5.635.0

鐵社員皆様の



大連汽船株式會計大連系圖可入五等語目五二六五。四六八一等語代表番號四一八五等國際長大連編圖可入五等國際長大連編圖可入五等國際長大連編圖可入五等國際長大連編圖可入五等

## 銀(金融)と 倫政向電信質(同) | 元次片電分型 和育向電信質(同) | 101間の分2 上海向電信質(同) | 101間の分2 上海向電信質(同) | 101間の分2 一本向電信質(同) | 101間の分2 一本の電信質(同) | 101間の分2 一本である。 一

午前十一時

國際運輸幣式大連支店 國際運輸幣式大連支店 大阪商船物は大連支店大阪商船物は大連支店

店海易行用地山丸丸

五四

本代理点船出戦日時は天成。 原係に依り程度すること有少 が路端鏡海側を質明 特別的機式會成大連代理店 明新型船機式會成大連代理店 明新型船機式會成大連代理店 明本型金融金融金融 中本式會は大連代理店

為替市場軟調

日間で扱ふものと見られてゐる

動味さなった

在溽紡績

操業開始

廿五日より

(四

満蒙目差す商

見本市合流の氣運

輸組本年の綜合見本市は

豫想外の申込を見ん

な変も明日から他に飛移るに決定 日下各紡線工場に在る軍隊は一部 日下各紡線工場に在る軍隊は一部

輸入關稅增徵に

當局へ請願

大連向運賃改正も交渉

大連商議の對策

一への を は 大日午後四時か 大日午後四時か 大日午後四時か 大日午後四時か 大日午後四時か 東亞動

物。棉

合

海標金

七二七兩〇二七二九兩八八兩八八